

野島地域 庁舎建設に関する検討会

【日時】 平成29年4月1日（土） 午後3時5分～4時

【場所】 野島漁村センター

【出席者】 野島地域住民 計33名

【市説明者】 松浦市長、村田副市長、末吉総務部長、石丸庁舎建設室長、竹末庁舎建設室次長、工棟庁舎建設室建設推進係長

【配付資料】 「防府市新庁舎建設について～庁舎建設に係るこれまでの経緯等～」

- 【概要】
- 1) 市長あいさつ（松浦市長）
 - 2) 庁舎建設に係るこれまでの経緯等（石丸室長）
 - ・候補地選定の経緯を中心に説明
 - 3) 質疑応答

【質疑応答の概要】 *各発言は、要旨を簡略化して記載している。

◆質問者1

立体駐車場の建設計画があるが、コインパーキングのようなものになるか。

●庁舎建設室長

立体駐車場になるかどうかは今からの検討になる。用地が取得できれば平面のほうが金額的には安い。ただ広い駐車場になると、逆に歩く距離が長くなって良くないということもあつたりするので、そのあたりは考えないといけない。

コインパーキングのようにして、例えば1時間無料で、それ以上の場合は無料券を出すとかいうような方法になると思う。今のように全く入口に何もないというわけにもいかないだろうと思っている。

◆質問者2

野島の場合、町の名前も場所もわからない人が多いので、その辺から説明して欲しい。

◆市長

大変良いことを言ってもらった。こういう紙切れで小さい字で説明をやってもらってもピンとこないということで、今からわかりやすく説明します。

今度作ろうとしている場所は、防府駅の西側の前のほう、国鉄の官舎があったところ。あの周りにこれまで500億円位、市がお金を入れている。折角だから、それだけのお金を突っ込んだところをもう少し良くしようという議論。議会では、そうしようとするに3分の2の賛成が必要。市議会だけを相手に説明するのではなく、それぞれの地域に向いて説明して歩こうということ。

先ほどの質問は駐車場はどうかという質問だったが、まだ、その段階まで行かない。今のところから移して、駅の北側に、先人が大金を突っ込んできたところを活かそう、それが防府の発展に繋がるのではないかという議論になっている。

そういう線で僕らは今からやっっていこうと思っています。

市長になって、すぐ、庁舎をいずれ作らないといけない、庁舎を作るのに国は一円もお金をくれない、原発を作ったり、米軍の基地が来ればくれる、合併すれば庁舎を作るのにお金が使える、私たちには何もないから貯金してきた。平成11年には否決されたが、平成12年に市議会議員の選挙があり、顔ぶれが変わって、貯金していくことになった。それからずっと貯金してきた。ほかには使えないお金を今では33億円持っている。そういう話になっているということをわかっていただきたい。

勝間地域 庁舎建設に関する検討会

【日時】 平成29年4月1日（土） 午後6時～7時30分

【場所】 勝間公民館 集会室

【出席者】 勝間地域住民ほか 計60名

【市説明者】 松浦市長、村田副市長、石丸庁舎建設室長、竹末庁舎建設室次長、工棟庁舎建設室建設推進係長

【配付資料】 「防府市新庁舎建設について～庁舎建設に係るこれまでの経緯等～」

- 【概要】
- 1) 市長あいさつ（松浦市長）
 - 2) 庁舎建設に係るこれまでの経緯等（石丸室長）
 - ・候補地選定の経緯を中心に説明
 - 3) 質疑応答

【質疑応答の概要】 *各発言は、要旨を簡略化して記載している。

◆質問者1

- ・この計画を進めていく中での人口増加の展望はいかがか。
- ・富海、向島、西浦など周辺地域に対する投資は、どう考えているか。

●庁舎建設室長

「防府生活都心」と呼んだ地域ではマンションなどの建設で人口が増えてきている。庁舎を移転することによって、まちなかのリノベーションを誘発し、都市再生の視点として、居住を誘導し、アクティブシニア層をマンションなどで受け止めるような考えを入れている。

周辺地域に対する投資については、財政的な面では若干、周辺地域にしわが寄ることも考えられるが、できる限り影響を減らすようにしていきたい。

◆質問者2

- ・市民アンケートの結果を教えて欲しい。場所についてはどうだったか。
- ・パブコメの結果とそれをどのように処理したのかについて聞きたい。

●庁舎建設室長

市民アンケートでは、場所については、駅北公有地が良いか、現庁舎敷地が良いかという選択は求めている。なぜかと言うと、何の情報もない中でどちらか選択することになってしまうので。

パブコメについては、現在、結果を公民館などで公表中。50名72件という大変たくさんのご意見をいただいた。

◆質問者3

面積が4分の1くらいになるが、駐車場も含めて、大丈夫か。

●**庁舎建設室長**

7,200㎡だけでは少ないので、11,000㎡位にはしたいと思っている。建物は高層化し、駐車場も一部は立体駐車場にして、台数を確保する。

◆**質問者4**

現庁舎建替を前提に意見を言いたい。まず、災害に優位である。警察、保健所、ソラール等近くにある。その辺をどのように検討したか。

●**庁舎建設室長**

災害に対しては、建築の仕様で、ほぼ対応できるとしており、設計段階で検討していきたい。

官公署との連絡については、ホットラインの設置やテレビ会議の導入を検討するなどしたい。

◆**質問者5**

新しい案の庁舎のエリアはいびつな形の土地。区画整理をきっちりやって、昼間の人口を増やす予測などを具体的に持っているか。

報道などでは60%以上が反対、市議会でも反対が出ており、それらの説得についてどのように考えているか。

●**庁舎建設室長**

昼間人口の予測は出していないが、防府市は現在、幸いにも人口は社会増であり、あまり悪いシナリオにはならないと思っている。人口減少を防ぐには、魅力あるまちであることや雇用が必要であり、状況を考えつつ計画を立案していきたい。

パブリックコメントは多数決を問うものではなく、多様な意見を吸い上げるもの。計画を作ったばかりであり、今後、当面は、懇切丁寧に説明していく。

現庁舎での計画を作りたい、比べてみたいというのも人情だが、予算も必要なことでもあり、無駄遣いにならないよう、慎重に考えたい。

◆**質問者6**

- ・パブコメはどの年齢層からの意見が多かったか。
- ・若い人たちの意見を吸い上げる機会を設けないか。
- ・公会堂、文福は、今後どうなるか。

●**庁舎建設室長**

パブコメでは年齢は記載されていないので不明だが、年配の方が多かったような印象はある。庁舎に関わらず、まちづくりの施策などにも絡めて、ワークショップなどの手法で若い人たちの意見を聞いてみたい。

公会堂は耐震改修の方針で舵を切っているが、文福はあり方も含めて現在ゼロベース

で検討中である。

現庁舎跡地は、すぐに売ってしまうと、資産がなくなってしまってよろしくない、企業誘致の種地などで活用できるのではないかと考えている。

●市長

色んな角度から検討の輪の中に入れていただいていることに感謝申し上げます。

今のまちづくりの中で、防府市が鉄道高架事業を立派に立ち上げた、現在の駅の状況、今の状況とかつての状況を想像してみてください。多くの人々のご協力、鉄道高架事業は延長6キロほどの大事業であり、華城から松崎、勝間など、地権者の方々にご協力をいただき、ものすごいお金をかけて防府市はまちづくりをやってきたということ。

私は、平成10年に市長に就任したが、まず、行政改革をやり、同時に合併の議論にも積極的に取り組んだ。合併はうまくいかなかったが、進めていた行政改革がころばぬ先の杖になり、今では県下で一番いい財政状況と言われたりもする。合併していたら、庁舎の話も今こうしてできていない。

これまでクリーンセンター、ソラール、スポーツセンターなどいろいろな事業をやってきたが、いずれは庁舎をなんとかしなければと、平成10年に就任して平成11年3月には庁舎の基金積立の議案を出した。そのときは否決されたが、平成13年にもう一度、議案提出して可決され、それからずっと積み上げて、28年度末に3億円、その前年に5億、その前も3億、前の市長選の前には5億円積み立てている。庁舎は作らざるを得ないもの。だが、庁舎の建設には、国は一銭もくれない。自分たちの力で将来の役所を作っていかなければならない。私は、新しい庁舎で働きたいという思いは毛頭ないが、後々の若い人たちが活用し、利便性を図っていくために庁舎は絶対に必要だと思っている。今の庁舎ではエレベーターも付けられない構造になっている。

100億円くらいかかる庁舎をどこに作るのが良いかということを考えたときに、先人が努力をされてきて、鉄道高架事業、再開発事業をやり、500億円くらい投入してきた努力の上に私たちが今あることを考えれば、その気持ちとお金を無駄にすることは許されない。

色々なことを考えながら、ご協議をいただってきた結果、とりあえず用地の選定としては、駅北の土地がよいでしょうとなった。面積が少ないのをカバーするためには、上に建てられる。5階まで市役所でその上にはホテルとか、そういうことも十分ありえる、どういうプランニングをしてまちづくりの視点の中で巨大な投資を活かしていくか考えていかなければならない。

人口はどうなっていくんだろうとか、他地域の方々との不公平感はないとか、私もいつも思っているが、向島には5億円かけて公民館を完成した、富海にも重点的に活性化のためにお金を投じ、人も投じており、大道には駅の南北通路を作り、駅舎を作り、多々良学園を防府に留めるために優先的に整備して土地を提供した。小野でも近々、公

民館を建替えるという話があがってくる。なぜ、中関にばかりスポーツ施設をたくさん作るのかと、よく言われるが、中関の広大な土地を有効活用するという意味において、一つの大きなまちづくりの一環として活着ていると思っている。

煎じ詰めると、私は、動かざるものを中心に、まちを作っていくべきと考えている。1100年鎮座している天満宮、110年今の場所にあるJR防府駅、そして港。これらを見据えながら、どこに市役所をもっていくとか、病院はどうかとかいうことは、今を生きる人の知恵を活用して考えていかなければならないと思っている。

今日から全地域を回る中で、今、私たちは何をなすべきか、ということの説明する責任の中でやらしていただこうと思っている。

庁舎を移すには議会の3分の2の議決が必要だが、それを安易な形でやっていくべきではない。ひとつもあせていないし、急いでもない。

しっかり説明をしながら、どこかの段階では、市民の皆さんのアンケートなどを取ることも必要になるかもしれないし、足りないところは、まだ、何回でもこういったことをやっていく必要があるのかもしれないとも思っている。色々なことを考えながら、取り組んでいかなければならない。

今日ご参加いただいた皆様に心から感謝申し上げます。

◆質問者7

PFIはどの程度考えているか。また議会への対応はどうか。

●市長

まず、場所を決めなくてはいけない。

例えば、ディベロッパーを数社呼んで、この場所でこれだけの土地とこれだけのお金を市が出しましょう、足りなければ自分で買ってくださいと。ホテルだろうと老健施設だろうと、あなたの腕次第ですと。今後60年間2億円ずつ市は家賃を払いましょうと。

ただ、何をやるにしても場所が決まらないとできない。

議会のことはよくわからないが、例えば、今の市役所の土地に80億円投入して夢を生む可能性があるかというとならないと思う。

駅北に移ると現庁舎は空地になる。いろいろな思いはあるが、安直に売ったりしないでおきたい。

PFIは絶対に考えないといけないと考えている。

小野地域 庁舎建設に関する検討会

【日時】 平成29年4月2日（日） 午後6時～7時30分

【場所】 小野公民館 大会議室

【出席者】 小野地域住民ほか 計17名

【市説明者】 松浦市長、村田副市長、末吉総務部長、石丸庁舎建設室長、竹末庁舎建設室次長、工棟庁舎建設室建設推進係長

【配付資料】「防府市新庁舎建設について～庁舎建設に係るこれまでの経緯等～」

- 【概要】
- 1) 市長あいさつ（松浦市長）
 - 2) 庁舎建設に係るこれまでの経緯等（石丸室長）
 - ・候補地選定の経緯を中心に説明
 - 3) 質疑応答

【質疑応答の概要】 *各発言は、要旨を簡略化して記載している。

◆質問者1

シンポジウムにも参加したが、あれからどんなところが変わったか。小野地区の現状をどのくらい加味されているかが一番気になる。私もそのうち自動車が運転できなくなる。そのときに新しい庁舎がどのくらい生きてくるか。

●市長

まちづくりは永遠の課題であり、5年10年20年で終わったというわけにはいかない。小野地域の現状は自分なりに理解をしているつもりだが、小野、向島、牟礼の公民館は緊急性を要するので、鋭意、意見を集約いただきながら建設していく。

交通の足ということになると、運転できなくなったとき、富海や大道と違い、小野や牟礼はバスに頼ることになる。

1100年動かない天満宮、110年同じ場所にある防府駅、それに港、まちづくりは動かざるものを中心軸において考えることが大事。なおかつ一貫性が必要。鉄道高架が6キロ、30年前とは隔世の感がある。お金も莫大な金額が投入されている。

市役所はいずれどこかに作らなくてはならないということで検討に入り、場所的にはこちらがいいでしょうねという結論をいただいたので、シンポジウムも開催し、同時に各地区に出向き、これまでの経過の説明に歩き出したところ。

小野地区に庁舎を作るわけにはいかないが、市街地の活性化がひいては小野地区の活性化にも繋がっていくという考えの中で話を進めている。

◆庁舎建設室長

基本的にはシンポジウムのときから大きくは変わったところはない。

シンポジウムのときに、まちの顔づくりという基調講演があった。地域、地域に良いものがある。例えば向島には蓬莱桜とか、小野には地域ですごく汗をかいておられる人がいる。コンパクトシティと言うときに、きちんとコミュニティがないと成り立たない。

コミュニティをつなげてバスが成り立つことになる。

◆質問者 2

今日の資料の「アクションイメージ」の中に縦に緑色の線がある。みどりを中核にした環境づくりをやろうという構想だと思う。防府は整備された南側に比べると北側はまだまだ。徳山に行くと、防府と違い、通りに比較的高い樹木が並んでいる。北側に緑を中心にした環境があれば町のイメージとしても魅力的。非常にいい構想だと思う。

●市長

いずれ市役所を作らなければもたない、貯金している33億円だけでは足りない、面的には、今、市が保有しているだけでは足りない。民間の資金を導入しながら、例えば、ディベロッパーを呼んで、お金はこれだけ、土地はこれだけあります、市役所の機能はこんなものが欲しい、毎年2億円ずつ、60年間、家賃を出しましょう、上にホテルだろうがマンションだろうが老健施設だろうがそれぞれの考えでやってもらっていいと。その提案をいただいて審査機関で審査して、この者にしようというように進んでいくのかなあ、と思っている。その中で、今、おっしゃられた水とかみどりとか、防府が持つに相応しい環境を導入していく、また、自動車で動けない人達にはどのような交通機関を活用する方法が取れるのか、これから議論をしていきたい。まずは、駅北に定めて市役所を作りますよという説明をとりあえずさせていただいているというのが今の状況である。

◆庁舎建設室長

今は佐波川からの疎水はほとんど暗渠になっているが、「災害に強い水とみどりのまちづくり」ということで、水路などを活用していくことを構想・計画の中で書いている。

◆質問者 3

「コンパクトシティ」とあるが、今までのコンパクトになっていない。例えばロックシティ。折角、天満宮があるのに、商店街はガラあき。商店街が活性化しないと柱にならない。天満宮を柱にコンパクトシティを考える考え方はないか。

また、新庁舎が駅の前であって、非常に活性化しているという事例があるか。

◆庁舎建設室長

新庁舎の位置からは少し距離があるが、駅と天満宮は防府市の大きな背骨である。商業に関しては、今は車で来るのが中心になっており、物販はなかなか難しいが、製造、ものづくりに近い商業などが考えられないかと思う。庁舎で活性化した事例はなく、新潟県長岡市で市役所を駅前にもっていった事例があるが、それで商業が活性化したかという効果ははっきりと現れているとは言えない。

◆質問者 3

結果的に将来世代に負担してもらい以上、ある程度の経済効果を示さないといけないと思う。

◆質問者 4

市庁舎が北にできれば、道路が非常に狭く、交通渋滞が起きると思うので、道づくりを考えて構想してはどうか。

●市長

どこかに作らなければならないのであれば、若い20代、30代、もっと小さな子供たちがここでよかったなあと思ってくれる場所にしていく責任がある。そのときに道路が狭いという問題があるならば、当然クリアしなければいけない問題。鉄道高架事業でも同様であった。交通の足の確保の問題など、すぐすぐできるものではない、決して急いでいるわけでもないので、様々な課題をこれから解決していきたい。

松崎地域 庁舎建設に関する検討会

【日時】 平成29年4月7日（金） 午後6時30分～午後8時

【場所】 松崎公民館 集会室

【出席者】 松崎地域住民ほか 計33名

【市説明者】 松浦市長、村田副市長、末吉総務部長、石丸庁舎建設室長、竹末庁舎建設室次長、工棟庁舎建設室建設推進係長

【配付資料】 「防府市新庁舎建設について～庁舎建設に係るこれまでの経緯等～」

- 【概要】
- 1) 市長あいさつ（松浦市長）
 - 2) 庁舎建設に係るこれまでの経緯等（石丸室長）
 - ・候補地選定の経緯を中心に説明
 - 3) 質疑応答

【質疑応答の概要】 *各発言は、要旨を簡略化して記載している。

◆質問者1

場所が北か今の庁舎かで決まっている。防府天満宮を活性化するためもっと知恵が欲しい。市役所を作る場所に駐車場を設け、大宰府のように商店街と一体化できると良い。

◆質問者2

この会の性格を確認したい。市としては駅北でやりたいという説明であったが、駅北で納得してくれという説明会か。

●庁舎建設室長

防府天満宮は、駐車場が上にあり、商店街との回遊性がないのは残念なことで、改善策を庁舎と絡めて考えるかどうかということはあるが、駅北に庁舎を出すことを今後のまちづくりの新展開、きっかけだと思っている。

この会の趣旨については、検討委員会で駅北公有地エリアを選んでもらった上での計画ができたので、その中身の説明をするということ。納得していただければ有り難いが、そうでない場合はどこが納得できないかなどお聴かせいただきたいと思っている。

●市長

そろそろ、どこかに市役所を作ってもいいのではないかという思いが私の中にある。かねてから、まちというものは動かざるものを中心に作っていかなければならないと考えている。防府の場合は、1100年鎮座している天満宮、110年あの場所にある防府駅、港もある。この3つが中心になってまちが形成されていくだろう。火葬場、消防署、焼却場も建替えて、そろそろ市役所にかかろうと。折角、巨大な投資をするなら、まちづくりに資していくのに越したことはない。おおよそ1000人の人間が昼間働いている、お客様も随分お見えになる。それを発展につなげない手はない。JR官舎跡地の土地があるから、それを有効活用する、そういう考え。

移転する場合には議会の3分の2の賛同が必要、現有地であれば過半数でできる。意

見が交錯しているが、どこかで折り合いをつけなくてはならない。

今日は、駅北で納得してくれという会議ではなく、今日までどんな議論をしてきたか、どんな考えを私たちが持っているか、つまびらかに説明させていただいている。

人口減少、少子高齢化の中で座して衰退を見ていくわけには行かない。今日まで駅中心におおよそ500億円位の投資を先人がなされてきた。鉄道高架事業も延長6キロにわたり地権者の協力があり、駅北・駅南の再開発事業にも大変なエネルギーが投入されてきた。これらのまちづくりへの投資を今に生きる私たちは有効に活用し、次世代に渡していく責任がある。

一定の判断をしたわけで、決断するのは市民であり、つまり市議会である。議会の3分の2の賛同が得られなければ実現には至らない。

庁舎の建設には基本的に国や県からのお金は出ない。30年前の駅前を想像していただいたら、今とは隔世の感があることは一目瞭然。合併していたら防府市のどこかに市役所を作るという議論にはならないだろう。そろそろどこかに庁舎を考えてもいいのではないかとということでご説明をさせていただいている。

◆質問者3

駅北で決まったように聞こえる。ゆっくりゆっくりと言われるがスピードも速まっている。もう少し駅北一本に絞らないで、市民の声を聴いてもらいたい。

◆市長

全く、決まっていない。行政の判断としてお示ししているということで、全く決まっていないことをはっきりと申し上げておきたい。

◆質問者4

決まっていないと言われるが、今出ている案の中から選びなさいと言われてるように受け取れる。いいところ、悪いところを両方出して市民に提示しないと、私たちが選べない。わからなければわからなくていいという話はいかがかと思う。一人でも多くの賛成を得て納得させるために動くのが当たり前。比較できるように現庁舎案も作って、そういう努力があつてこそ市民は納得する。

◆質問者5

新庁舎の構想が出たときに、土地を買い増して大きな塊にして庁舎が作られると思っていたが、バラバラのまま、区画整理せず、道路は狭いまま、駐車場は立体駐車場となれば、使い勝手は悪くなるのではないか。耐震性の問題もあり、早く庁舎を建てるべきだが、現有庁舎での建替えのほうが早いし、安い。30億円の差があるとなっている。天神の商店街の活性化をどういう風に果たしていくのか、資料はあるが説明がなかったのでその説明もして欲しい。

◆庁舎建設室長

両案作るということについては、全会一致で議会から決議もいただいているので、それについてどういうご意見があるか、各地区でお聞きしたいと思っている。

土地がバラバラのままでは建てられないので、市道を付け替えたりして、その手法としては面的整備が一番良い、区画整理がやればやりたい。最近は都市計画決定の必要のないものもある。

耐震の面でできるだけ早くということ、確かにそうなのだが、まちづくりの面などもあり、早くというだけではいけないところもある。

資料2 ページ目に30億円の差が出ている。1年前にこれだけの差があるということでお見せしている。先ほどの耐震性ばかりでなく、こういったものも含めて評価したということで、この表では用地取得が27億、合計で118億となっているが、現在では、精査して用地取得費は9億1千万円まで下げている。それは資料の一番最後のページ、概算事業費のB案のところ。B案では庁舎自体の建設費用も最新単価で置き直した結果10億円くらい上がっている。現庁舎と比較してはいないが、現状では30億円もの差はなくなっている。

ソフトのまちづくりの話は、今回の計画は庁舎の建設計画なので、対象範囲外のところもあり、書いてないところも多い。今後立案するほかの様々な計画に書いていかなければならない。

◆質問者6

お金が今30億あって、残り70億の財源、先々、人口が減ったときでも財源不足にならないようにしないといけない。人口減少に見合った建物にして、この先も大丈夫という予算で考えてもらいたい。

◆質問者7

アンケートで70パーセントが反対ということがあった。それにはそれなりの理由があると思うが、どのように考えているか。

駅北は周りの道路が狭く、行きにくいところ。県道は広くしてもらえるか。町が発展するかという点は、ルルサスにも見られるように、難しい、無理じゃないかと思う。結果としてどうしてもお金の問題になるが、その辺はどうか。

◆質問者8

今、問われているのは、市の情報公開が十分なされてなかったということ。アンケート行政をする必要はないが、市が行ったアンケートの結果は、防災拠点機能の重視が5割あり、まちづくりに寄与するというのは2割しかなかった。

結論は別として、早期に市議会の決議に対応してもらいたい。私たちは市議会議員に託している。

◆庁舎建設室長

財政破綻というのは入の問題であって出の問題ではない。人口と経済成長は無関係。

アンケートの7割というのは、われわれが実施したものではないので、お答えする立場にない。県道が広がるということはないだろう。情報公開が不十分というのはそういう点もあったと思う。防災が大事というのは、総合的に判断したということだと思っている。

◆市長

今日この場で結論が出るわけではない。ここでは、ご意見をお聴きし、どういう経過で今日まで来たか、説明を聴いていただくという場である。庁舎の建設は避けては通れない問題であり、一定の方向性を出していかなければならない中で非常に重たい判断をしている。民間活力の導入など、頭の中にはいろいろあるが、まずはどこに作るかということが肝心。前に転がっていかないことには事は進まない。30年40年前からこのまちをなんとかしたいという思いで巨額の投資をされ、まちの発展に貢献された先人の思いを無にしてはならないと思っている。

右田地域 庁舎建設に関する検討会

【日時】 平成29年4月8日(土) 午前10時～午後11時30分

【場所】 右田公民館 集会室

【出席者】 右田地域住民ほか 計38名

【市説明者】 松浦市長、村田副市長、末吉総務部長、石丸庁舎建設室長、竹末庁舎建設室次長、工棟庁舎建設室建設推進係長

【配付資料】 「防府市新庁舎建設について～庁舎建設に係るこれまでの経緯等～」

- 【概要】
- 1) 市長あいさつ(松浦市長)
 - 2) 庁舎建設に係るこれまでの経緯等(石丸室長)
 - ・候補地選定の経緯を中心に説明
 - 3) 質疑応答

【質疑応答の概要】 *各発言は、要旨を簡略化して記載している。

◆質問者1

防府で仕事をしているのに、子供の医療費が長い間無料になるので下松から通ったほうが安いという人も多い。人口減少を前提にするのではなく、人口をいかに他所から集めて増やしていくか。

防災拠点としての対応は、ソラールなどのバスでの輸送の面や、警察署も近いなど、現庁舎敷地が大きく優位だと思う。駅北エリアに反対というわけではないが、もし駅北になったときにどれ位人が集まったりするか疑問。

無理にひとつにまとめるのではなく、一般の方々が足を運ぶことのない土木部門は分け、ルルサスなどにも分けて有効利用することを考えてはどうか。

◆質問者2

一番立地のいいところ、交通の便も、密集していて交通量が多いところに移転するというのはどうか。

●庁舎建設室長

人口減少対策については、資料の2枚目、5番、「新庁舎とまちづくりの将来像」というところに狙いを書いている。まちなかに庁舎を建設する意味として、中心を定めたまちづくりをして、庁舎の移転をきっかけにまちなかをリノベーションして行こうと。図の中に「居住の誘導」とあるように、アクティブシニア層の居住を促進し、駅周辺の便利な場所を受け皿にしていこうということ。

防災については、確かに現庁舎敷地が優位であり、検討委員会でも議論になったところだが、5つの評価軸を総合的に判断されたということ。

ルルサスについては、失敗と言われる方もいるが、できる前と後を考えると、土地のポテンシャルは確実に上がったと思う。にぎわいの部分はまだ足りていないが、これからも努力していかなければならない。アスピラートも含めて、どのように有効な活用が

できるか、色々な知恵を入れていけたら良い。遊休化したものを活かすということが大切で、なぜ駅北かという、有効活用できていない土地があるということ。

◆質問者 3

ルルサスとアスピラート、図書館、駅周辺に既に3つ施設があり、その効果がどれだけあって、庁舎を作ることによってどれだけ効果が見込めるか、数値的にどこまで把握しているか。

駅北公有地のB'案では集合住宅には役所の機能は一切ないのか。

集合住宅などの民間活力導入と庁舎建設とは無関係という気がする。どうして庁舎が必要なのか、もう少し説明を。

◆質問者 4

シンポジウムの際の資料より対比が多くなったことは評価するが、最終的には現在の土地との比較が必要。平成27年9月のアンケートの用地の賛成、反対のパーセントがわかれば教えて欲しい。建設候補地の選定で、現在の地点ではなぜだめなのかがピンとこない。どういうところがダメなのかを出すべき。移転するなら今から跡地の利用ももっと考えるべき。地権者の協力が得られるのか、その目途はあるのか。

●庁舎建設室長

資料3ページ、アクションイメージの中に、三角形になっている「にぎわい空間」と書いているが、回遊の核を作りたいということを入れている。

図書館の利用は以前より格段に増えているが、それを商業に呼び込めていない。今の状況で満足ではないので、関係部署と協力して手を打っていきたい。

事業計画のA案は用地取得しない案、B'案はB案を前提に更に用地取得ができた場合、集合住宅など事業性が保てるものを提案してもらう案で、B案とB'案は民間が入るかどうかの違い。

用地については地権者には全く交渉などしていない。

27年9月のアンケートでは、どちらの土地が良いかという設問はなかった。

両方の案を作って比べることについては、何らかの対応があるだろうとは思っている。

現有地では何がだめかということは、今、建っているところであり、いい土地である。しかし、建替えるには100億くらいのお金がかかるので、まちづくりということも考えた結果、駅北のほうがよいとなった。

30億の違いというのは、選定の前段階で示した数字で、その当時27億円だった用地取得費は9億1千万円まで減らしている。なぜかと言うと、選定する前に小さい数字を出して後々高くなったということになれば話が違くなるので、面積も大きく、金額も高めに見込んで30億円も違うがどうかと示した。今の計画で出している数字は、実際にはそこまでの土地は必要ないだろうということで、必要最小限の面積とした数字。現庁舎敷地の数字は出していないが、差はほとんどなくなっている。

跡地利用については、いろいろな考えがあるが、今からである。

◆質問者 5

今回の説明は北に移転というのが決定した上での説明か。今から検討ではないのか。両方の案についての説明があるのかと思っていた。

◆質問者 6

市議会の現庁舎案作成の決議が全会一致なので、早急に作ってもらいたい。広さとか使い勝手だが、車の便で考えると今の庁舎は全部で4箇所出入口があり、全て平地で車の流れが良い。それでも確定申告のときなどは混雑する。もし駅北で立体駐車場となると、ルルサスの駐車場のイメージで渋滞する。確定申告のときなどは大渋滞になる。やはり、今の現庁舎地のほうが使い勝手がいい。

そう考えると、5つの評価軸の中のアクセス性と集まりやすさは、今のところがよいし、経済的合理性も早くて安い今の庁舎のほうが良い。

◆質問者 7

現庁舎敷地と駅北公有地エリアでどちらがよいかという話だが、私も今は車で行けるが、免許返納することになれば、アクセスは優劣つけがたいと思う。でも、バスのターミナルがあれば、場所にはあまり関わることなく、便利になる。そのとき、スペースは現庁舎敷地が広いので、何かにつけて色々なことが実現しやすいと思う。

●庁舎建設室長

資料の一枚目左下を見ていただきたい。市役所の移転は市役所の位置の条例を議会の3分の2以上の議員の同意を得て改正しなければできないので、条件付の計画であり、決定したものではない。検討委員会でひとつを選んでいただいて、市の執行部としてはそれを基に計画を作らせてもらった。そこには現庁舎敷地は入っていない。その計画の説明をさせてもらっている。それで納得してくれとか、決め付けているわけではないので、ここでは反対の意見も十分お聴きしたい。

使い勝手の話は、検討委員会では、車に過度に頼り過ぎない、歩いて暮らせるまちというようなイメージで未来志向で考えられたが、確かにスペースが広いのは良いこと。

◆市長

右田地域では火葬場の建設や公民館の駐車場も広い駐車場を整備してきた。私が市長に就任したときは、赤字団体に転落寸前であり、行政改革に取り組んできた。体育館もごみの焼却場も作り、そろそろどこかに市役所を建設してもいいのかなあとということで、貯金も33億円できて、検討委員会で検討して、駅北の市有地を活用するのが良いのではないかと結論をいただいたので、そのことについて行政の判断を皆様にご説明しているということ。北に決まったわけではないし、密室でやっていることでも断じてない。これから地区地区を回り、説明しながら、一緒に協議を進めていきたい。

新田地域 庁舎建設に関する検討会

【日時】 平成29年4月8日（土） 午後1時30分～3時

【場所】 新田公民館 集会室

【出席者】 新田地域住民ほか 計50名

【市説明者】 松浦市長、村田副市長、末吉総務部長、石丸庁舎建設室長、竹末庁舎建設室次長、工棟庁舎建設室建設推進係長

【配付資料】 「防府市新庁舎建設について～庁舎建設に係るこれまでの経緯等～」

- 【概要】
- 1) 市長あいさつ（松浦市長）
 - 2) 庁舎建設に係るこれまでの経緯等（石丸室長）
 - ・候補地選定の経緯を中心に説明
 - 3) 質疑応答

【質疑応答の概要】 *各発言は、要旨を簡略化して記載している。

◆質問者1

パブリックコメントでは80パーセント位が既存の場所でいいという意見だったが、27年9月のアンケート結果はどうだったか。また、駅北なら土地の面積が狭い分、高層化の必要があり、建築費がかなり上がるように思われるがいかがか。

◆質問者2

説明を聞くと北側ありきという感じを受ける。駅北だけでなく現在地に対する構想も付け加えた上で比較したい。

●庁舎建設室長

アンケートでは、2つの場所のうち、どちらがいいかというような選択の設問はしていない。なぜかというと、情報が十分でない中で決めるのは非常に怖いということ。高層化に伴う費用も加味して金額を出しているが、まだ設計段階ではないので、割と安全を見込んで積み上げている。現在地の案を作ることについては、議会からも決議をいただき、各地区でもご意見を受けており、何らかの形で応えなくてはいけないと思っている。

駅北ありきということについては、学識経験者や市民の公募委員にも入っていただいた検討委員会での一定の答えであり、それを基にした計画を作ってお示しするのは、検討委員会に対する行政の責務であろうと考えている。駅北ありきではなく、今、ご意見をお聴きして回っているところ。

◆質問者3

人口が減少する中で庁舎を建設するということをどのように考えているか。

◆質問者4

「まちなかの賑わいと回遊の核となる駅前の顔づくり」とあるが、今までも栄町や天

神などはずっとそういう話があってそうっていない。ルルサスも活性化の役目を果たしていない。庁舎が移ったからといって活性化するのか。税金を使ってやっぱりダメでは困る。

●市長

人口減少は大変な課題。防府市もわずかずつだが減少に入っている。30年50年先に防府の人口は10万人を切ると言われたりするが、県内でも一番頑張り続けるのが防府だと思っている。統計的に言っても下松と防府は人口減少が少ない。まちづくりの可能性は大苦戦だと思う。商業者が目の色を変えて働かなければダメだとも思ったりする。だから手をこまねいていて良いということにはならない。スポーツセンターやごみの焼却場も建設したが、まちづくりは永遠の課題であり、その時代に生きるものが英知を絞ってやっていかなければならない。検討委員会で新しい巨大な投資を市役所という形でするならば、駅北で将来への発展の可能性を探ってはどうかという結論が出たわけで、それを尊重していくことが行政としては当然の道。今までも懸命の努力をしてきたが、これからも怠ってはならないと考えている。

◆質問者5

この説明会は、どうしようかという意見交換があると思ったが、新しいところに移転する説明会になっている。反対意見がたくさんあったと言うが、駅北にこそ住宅をもってくるべき。若い人は車に乗ってどこにも行けるが、高齢者のために車を利用しなくても住める社会を作るのが防府市の役目。それは市役所がなくてもできる。

◆質問者6

市役所は土日が休みなのに、ど真ん中に建てて活性化するのか。車でいくと細い道ばかりで危ない。北に決まったような説明を受けているが、いつの間に決まったのか。

●庁舎建設室長

今日は、納得してくださいという会ではない。反対のご意見もいただいて、お受けしたい。いろいろご批判もあろうが、検討委員会で一定の方向性を出していただいた上で作り上げた計画を今日はお示している。どのようなご意見でもよいのでいただきたい。

八王子一丁目のエリアを生まれ変わらせたい。市役所をそこに出すことによって発展のきっかけを作りたい。この辺りの地価は一番高かった頃と比べると8割落ちている。昭和12年ごろ、耕地整理をやっているのだから、道は2間3m60の規格で古く見直す必要がある。街区は多くが民有地なので、例えば民間の組合などでどんどん価値を上げていかないと、核となる場所の容積や密度が沈んでいくと都市機能が衰えてしまう。まちの真ん中辺りの土地の有効利用を図りたい。役所をもっていくことで民間の投資を呼び込むきっかけにしたい。どちらに建てても100億くらいはかかる。世代間の公平性も考え、次世代にも適正な負担をしていただく。

市役所は土日が休みだが、土日の使い方はポイントになる。商業を貼り付けることや

イベントで使うとか、土日が賑わうようなことを考えたい。

◆質問者 1

パブリックコメントでは80パーセントが現状の箇所、10パーセントが駅北というのは、80パーセントの人は不安だということ。ここに書いてあるようなお金でできるのか、交通アクセスの問題もある。賛成の人はすごく前向きに考えている。説明ばかりと言う人もいたが、僕はもっと説明が必要だと思う。もっと、もっと説明してもらわないと80パーセントの人の不安が減らない。現状維持でこのままが絶対いいと思っている人はそんなにいない。折角建てるなら効果的にと考えられるかどうかは、これからの説明にかかっている。ただの反対だけはしたくない。前向きに考えていいんじゃないかと思う。

●市長

現有地の場合は、ぱっとわかる。駅北の場合、具体的な絵をまだ描いていない。道路もあの状態ではだめだろうし、土地もいびつなところを整形にしていくほうが利用しやすい。まだ、どこも決められていないエリアとしか言えないもどかしさを感じている。

33億円貯金を持っており、この土地があります、こういう市役所が欲しい、駐車場はこれだけの台数が欲しい、それに応えてくれるディベロッパーがあるかないかわからないが、年間で市役所の家賃を2億円払います、後は、ホテルだろうが、マンションだろうが、老健施設だろうが、あなたの裁量で、土地が足らなければ買い足してください。それ位の形で民間活力を活用していくことができるのかなあと思っている。

一番簡単なのは、今の市役所の中に建て替えることだが、そういう易しい道に入っていくのか。今まで駅北の辺りに500億円位突っ込んでいます。それを活かしてまちづくりをする。検討委員会からこういう提案をいただいているということを持ってお話をしなくてはならない立場にあるので、こうして報告にあがっている。議会で3分の2の賛成がないと移転できない。現有地であっても過半数の賛成が要る。どちらも難しい色々な問題がある。そろそろどこかに庁舎を作ってもいいのではないかという状況下に来たということの中で、大事な時間を頂戴している。

◆質問者 7

防府は全然発展していない。スローガンは良いが行動が伴わない。

◆質問者 8

デザインプラザに参加したが、市役所を早急に建替えないといけないという課題とマッチしない説明だった。ご意見は伺うが、検討委員会で決まったことでこれでいきますよというのは違うと思う。早急に建替えるべき市庁舎のことと、今、やっておられるまちづくりの話は離れていると思う。現在地であればすぐに絵が書けると思うので、その方向で考えて欲しい。

●**庁舎建設室長**

先ほどからの話になるが、前向きになれるようなものを示していきたいと思っている。防府にはポテンシャルがあり、人口減少なども他市に比べると良い状態。住宅、雇用、子育てなどは重要で、防府のポテンシャルを活かしていかなければならない。現在地の絵については、現在、各地区を回っているので、皆さんの声を吸収して、今後の進め方について十分検討したい。

◆**質問者 9**

交通アクセスの問題だが、災害発生の際に庁舎は防災拠点になるので、駅北では渋滞が発生する。その点はどうか。

●**庁舎建設室長**

道路拡幅については、県道については県と協議するが、拡幅するとなれば時間はかかるだろうし、拡幅自体も難しいと思う。災害発生時は警察や自衛隊などが市役所に集まる。ボランティアセンターなどは別の場所にして分散させる。

華浦地域 庁舎建設に関する検討会

【日時】 平成29年4月8日（土） 午後3時30分～5時

【場所】 華浦公民館 集会室

【出席者】 華浦地域住民ほか 計45名

【市説明者】 松浦市長、村田副市長、末吉総務部長、石丸庁舎建設室長、竹末庁舎建設室次長、工棟庁舎建設室建設推進係長

【配付資料】 「防府市新庁舎建設について～庁舎建設に係るこれまでの経緯等～」

- 【概要】
- 1) 市長あいさつ（松浦市長）
 - 2) 庁舎建設に係るこれまでの経緯等（石丸室長）
 - ・候補地選定の経緯を中心に説明
 - 3) 質疑応答

【質疑応答の概要】 *各発言は、要旨を簡略化して記載している。

◆質問者1

職員の安全だけでなく、そこを利用する市民の安全のためにも、一刻も早く新市庁舎建設がなされるよう願っている。

平成28年5月に建設候補地として駅北公有地エリアを選定するときの会議のはじめに委員長が駅北でいきたいという発言をされ、今から審議するのにおかしいと言った他の委員の意見は無視されたということである。どちらが優位かあまり変わらない、どちらもどっちなら今のところでもいいじゃないか。

コンパクトシティを赤い点線の範囲に決めたのはいつ誰が決めたか。現庁舎の敷地も、遠く離れているわけではない。警察や公的な施設も近い。私は、今のところ早く安全に作って欲しいと願っている。

◆質問者2

現庁舎の広いところから、狭いところになるのはなぜか。建設費が高いところになぜ変わるのか。活性化というが本当に活性化するのか。

●庁舎建設室長

一刻も早く建替えなければならないが、まちづくりの要素もあり少し時間がかかるだろう。委員会の中でも様々な視点からの意見があったが、総合的な見地から選ばれている。明らかにどっちという決着はつかなかったが、委員長が強引に進めたということはなかったと思う。コンパクトシティのエリアのことを言われたが、ここに書いているのは市役所が移転したときにインパクトを与えられる範囲ということで、コンパクトシティのエリアがこれで決まっているものではない。

広いほうが良いのは間違いないが、遊休資産化している土地を利用して将来の発展を展望できる場所として選んだ。そのときの費用はかかるかも知れないが、バックがあるという考え方をしたので、高いと言うだけで止めることはしなかった。

活性化については永遠のテーマであり、それに向けて努力したいということ。

◆質問者 2

決まっていないと言うが、北に決まっているではないか。市民の7割方は反対している。無駄な金を使わずに現庁舎に建てて欲しい。現地で何が悪いのか。

●市長

我々、行政体というものは悲しいかな色々な順番を踏んで物事を諮っていかなくてはならない。市民の声を大切にすることはもちろんだが、色々な方々の代表からお話を伺うところから入っていく。市民全部にお聴きするのは不可能。団体の代表で構成される協議会でお話を聴き、そこで導きだされたものを私たちの意見としてしっかりと市民にお示しながらご説明していくという責任がある。

発展の可能性については、よく考えてみてください。30年くらい前の防府を。駅の前でもなかなかきれいな状態にならなかった。

◆質問者 3

土地の選定では少人数の意見で、市民の意見が反映されていないことから問題が起きている。来年の市長選の争点にしたらい。駅北では立体駐車場になるが、アクセルの踏み間違えなどもあり、駐車場は立体でないほうが良い。

◆質問者 4

3月27日に市議会の決議が出ているが、新聞報道では現庁舎案を作る考えはないとあった。先ほどは「何らかの対応を」と言われたが、もう少し詳しく聴きたい。

●庁舎建設室長

少人数の意見と言うが、市民の皆さん全員に聞くわけにもいかないし、参画と協働の進め方の中のひとつの方法。パブリックコメントやシンポジウムも参画と協働の一形態。今日の会もそう。少人数だから間違いということにはならないと思う。

立体駐車場が危ないということは確かにあり、事故なども起こっている。平面のほうが安くできるということはあるが、歩く距離が長くなるということもあり、立駐と平面を組み合わせたい。

決議については、全会一致であり、今、各地区を回ってご意見をいただいております。全地区でお話を伺った結果も踏まえて対応を考えていきたい。ただ、費用も生じることであるので慎重に考える。

◆質問者 5

デザインプラザの説明会にも参加したが、駅北ありきで、決定されたと受け取っている方が多い。市議会の決議を重く受け止め、現有地での計画を出して欲しい。

◆質問者 6

検討委員会の出された結論を否定するべきではない。問題は、情報開示が不足してい

るということ。昨年の市民アンケートでは庁舎の機能として防災拠点の機能を重視するという答えが50パーセントもある。まちづくりは21パーセントで5位。検討委員会という独立した中でしっかり議論することは大切だが、市民アンケートやパブリックコメントで示された民意を汲み取って欲しい。市の活性化、賑わいのあるまちづくりに反対するものではないが、現庁舎敷地とソラールの敷地を合わせた周辺の誇れる防災環境を失ったら二度と返ってこない。市議会の3月27日の決議が全員一致でなされたことは重たいことなので、是非二つの案を作って欲しい。駅北は不確定要素が多すぎる。

◆質問者7

私は駅北に移転するのには賛成ではないが、移転したとして、現庁舎の敷地は売却されてしまうのか。売却後は、どんな目的に使おうとも自由ということになるか。

●庁舎建設室長

現有地案を作ることについては、重く受け止めて、何らかの対応を考えていきたい。決定と受け取られていることについては、そういうことをお聴きするもの事実だが、こういった場でも決まっていないという説明しているところ。防災の面からも再検討をというご意見があったが、引き続き、検討したい。不確定要素の排除という面については、少しずつ詰めていきたい。最後の跡地利用の件は、売却というお話をされたが、今のところ、売却ということは考えていない。

◆質問者2

各地区回った後、2つの案の比較をして、議員が決めるのは酷だと思うので、市民の住民投票で決めたらどうか。

●市長

私どもは、検討委員会の方々の判断を重く受け止める立場にある。その判断を行政の判断として皆様にご説明をしていく、それもなるだけ短期間にといい熱い思いの中で4月1日から回らせてもらっている。この取組にはご理解をいただいていると思っている。

行政の判断だけでは物事はできない。将来に対しての責任も含めて、決断は市民がなさることになる。その方法は、今の時代では議会が代弁されることになる。アンケートだけでなく、住民投票ということもあるかも知れない。こういう問題は政争の具にすべきものではないと思っている。基本的にじっくりと相談していきながら、市民の声がどこにあるかを把握していくことが大事だと思っている。

大道地域 庁舎建設に関する検討会

【日時】 平成29年4月10日（月） 午後6時～7時15分

【場所】 大道公民館 集会室

【出席者】 大道地域住民ほか 計20名

【市説明者】 松浦市長、村田副市長、末吉総務部長、石丸庁舎建設室長、竹末庁舎建設室次長、工棟庁舎建設室建設推進係長

【配付資料】 「防府市新庁舎建設について～庁舎建設に係るこれまでの経緯等～」

- 【概要】
- 1) 市長あいさつ（松浦市長）
 - 2) 庁舎建設に係るこれまでの経緯等（石丸室長）
 - ・候補地選定の経緯を中心に説明
 - 3) 質疑応答

【質疑応答の概要】 *各発言は、要旨を簡略化して記載している。

◆質問者1

市庁舎建設について市民アンケートを採ったときには現在の庁舎の位置が多数意見だったのではないかと思う。アンケートの結果をもう少し詳しく説明して欲しい。

◆質問者2

1月のシンポジウムに参加し、長岡や姫路、横手などの事例を聞いたが、駅の近くにもっていった方が車の免許がなくなってもバスに乗っていける。是非、駅のところにお願いたい。若いときは市役所に行くことはあまりなかったが、年をとるとしょっちゅう市役所に行く。その当たりも考えて欲しい。

●庁舎建設室長

アンケートの場所に関して、市が行った平成27年9月のアンケートでは場所を尋ねる質問はなかった。自由回答の中には、場所について書いてあるものはあったものの、数値的なものは、そのときには出ていない。

●市長

防府市では過去に先人が500億くらい、まちなかに巨大な投資をしてきた。鉄道高架事業、南北区画整理など。これを活かすのは我々の責任。庁舎という巨額の投資をするなら将来の発展の可能性を模索できる場所が良いのではないか。検討委員会でもそのような判断となったが、決断は市民がされることになる。庁舎を別の場所に移す場合には議会の3分の2の同意が必要。現在あるところに建替えるにしても過半数は必要。アンケートの話が出たが、もしかしたらこれから、庁舎についてアンケートをする必要が出てくるのかなあと思ったりもしている。いずれにしても市民の皆さんのご意見をしっかりお聴きしたい。駅北ありきではない。駅北という判断に基づいて計画を立案し、お示ししている。今お示ししている2枚のペーパーも完全なものではない。用地も買い取らなければならないし、道路も付け替えなくてはいけないだろう。

◆質問者 1

位置についてのアンケートは取らなかったという答えだったが、私が耳にする範囲では無理に駅周辺にもっていく必要はないのではないかという意見が大変多い。高齢になると自家用車に乗れないという状況はあるかも知れないが、現有地も駅からそう遠くない。市役所の本庁舎にまで行って手続きすることは数年に一回あるかどうかで、防府市も各地に支所があって充実しており、支所で完結する手続きも多い。市庁舎は駅から離れた場所でも良いので、駅周辺、中心部はにぎわいが出る商業なり文化なり、そういうエリアにして欲しい。

●庁舎建設室長

位置については、なかなか甲乙つけがたい。現庁舎は実際にあるわけで、悪いわけではない。愛着あるところから離れようということなので、当然反対はあるだろう。役所が移っても商業の活性化にはならないという意見もあるが、遊休化した資産を活かしたいという考え。八王子一丁目の街区は昭和12年から耕地整理を行ったところで、道の幅も2間、3.6メートルと狭い。地価も高かった平成10年で192,000円だったものが平成29年の地価公示では39,700円、80パーセント下落している。市庁舎が出て行くことによって街区を蘇らせられないかと考えている。

◆質問者 1

駅北ありきではないと言われたが、駅北ありきではないか。ここまで検討が進んでいるとは思っていなかった。決まった内容を説明しているのではないかと思って、今日は見に来た。市役所には行政の手続きのために行くのであって、数年に一度。市庁舎が出ることによって活性化することはあり得ない。現有地の場合と駅北の場合と両方の案を並列して、市民にアンケートを採ったらどうか。

◆質問者 3

庁舎をまちづくりに活かすといってもそれは間違っていないと思う。全く活性化に繋がらないかというゼロではない。ただ、今の場所を失ってまでの効果なのかという比較の問題だと思う。県下に誇れる防災拠点を失うべきではない。

検討委員会の17名が決めたのがそれでいいのかという話もあるが、この人達には背負っている団体がそれぞれあるので、私はそうは思わない。それもひとつの判断材料。

3月27日の市議会の決議を尊重しなければ市民不在である。決議を重く受け止めて、両案を作って議会できちっと議論して欲しい。

●市長

検討委員会の方々の判断を尊重して、行政が判断をしていくことは当たり前の行政のルールであり、それに基づいて、まずはご説明をさせていただいている。決断を下すのは市民の皆さん。お一人お一人の意見をなかなかお聴きするわけにはいかないの、こ

うやって各地区を回らせてもらっている。この後は、商工会議所とか、女性団体の方とか、老人団体の方々とか、諸団体のご意見もお聴きしていきたいと思っている。そうした中から場所についてのアンケートというようなことも考えていかななくてはいけないときもあるかも知れない。まちづくりは永遠の課題であり、その時代を生きるものの努力が継続されて初めて課題が解決に向かっていく。防府市には防府市の分相応のまちづくりが求められる。また、今ある市有地、現在の庁舎がある土地は、全く売却するつもりはない。土地は売れば戻ってこない。大切な宝物だと思っている。市民の皆様のご決断をいただき、いずれどこかに建替えなければならない。合併していたら庁舎を建てる話などあり得なかった。いずれにしてもじっくり考えて答えを出していきたい。

中関地域 庁舎建設に関する検討会

【日時】 平成29年4月15日（土） 午後1時～2時10分

【場所】 中関老人研修センター

【出席者】 中関地域住民ほか 計53名

【市説明者】 松浦市長、村田副市長、末吉総務部長、石丸庁舎建設室長、竹末庁舎建設室次長、工棟庁舎建設室建設推進係長

【配付資料】 「防府市新庁舎建設について～庁舎建設に係るこれまでの経緯等～」

- 【概要】
- 1) 市長あいさつ（松浦市長）
 - 2) 庁舎建設に係るこれまでの経緯等（石丸室長）
 - ・候補地選定の経緯を中心に説明
 - 3) 質疑応答

【質疑応答の概要】 *各発言は、要旨を簡略化して記載している。

◆質問者1

シンポジウムやアンケートの結果、8割前後の市民が現庁舎敷地を望む中で、なぜ、現庁舎を排除して駅北で進めようとするのか。

◆質問者2

庁舎を駅北にもって来る明確な根拠が欠けている。最終的に決めるにはどちらが市民のためになるか、きっちり検証する必要がある。それが欠けていると思う。

高齢化社会に向かう中、駅北に立派な庁舎を建てて、果たして市民が行くのか。周南の庁舎建設の経緯をインターネットで調べてみると、自治会の意見がかなり反映されている。防府の場合、取組としては今回が初めてといい。これを踏まえて考えて欲しい。生活圏というのは公民館なりが中心なので、公民館の機能を充実させることで、新庁舎の規模をコンパクトに集約できるのではないかと思う。最終的には市の組織の話になるが横の連携とかそういうことを念頭において進めるべき。

●庁舎建設室長

駅北ありきということはどの地区に行っても言われるが、検討委員会で駅北を選んでいただいて、それに基づく計画になっているので説明するとどうしてもそのように映るのであるが、できるだけ丁寧に説明しているつもり。

防災拠点のことや市民に利用しやすいということは当然に必要なことだが、まちづくりはどうしてもよいということにはならない。色々なご意見をいただくが、現庁舎敷地が悪いというわけではないので難しい選択だと思う。

細切れの土地をどうやって活かすのかというと具体性がない部分も多い。地権者などもおられるので明確にできていない。すぐに絵を描くわけにはいかないが、今から少しずつでもお見せできたらと思っている。市役所は単なる事務所ではなく、市民のため、市政のため、地域振興の使命を帯びているということをしっかり認識しておきたい。手

続きも出張所で全部できる時代が来るかも知れないが、手続きではなくて自治会のコミュニティの話し合いに来るとか、市役所に来る目的が変わることも考えている。他所に負けないように防府の潜在能力を活かしていかなければならない。

◆質問者 3

なぜ、便利なところから移動するのか。現庁舎であれば、大きな道路があり信号機もついている。官庁街でもある。立体駐車場は年寄りにとっては厄介。立体になれば、1時間は無料、後は時間によって有料となるのだろう。年寄りに優しいまちづくりをして欲しい。賑わいの空間を作るのは11万7千人の人口ではまず無理。ルルサスの実情を見ればわかる。ダイソーも逃げて静かなもの。市役所が移転したから賑わったという話をあまり聞いたことがない。

◆質問者 4

金額は安いほうが良いし、現状の位置なら議会棟が使えるというのも良い。公会堂がかなり古いという話もあったが、北側を再開発するのであれば、今、挙がっている土地を公会堂にしたら良い。この資料には現状での建替え案がないのでイメージが湧かない。駐車場も立体ではなく、平面が良い。現庁舎敷地に建替えたほうが色々な面で良いと思う。

●市長

検討委員会でいただいた一定のご判断について説明させていただいているので、どうしても駅北ありきではないのかと思われがちになる。検討委員会の判断を無視することは絶対できないので、そういう意味からご説明に上がっていることをご理解いただきたい。市民の声を無視することは絶対にあり得ない。決断されるのは市民である。位置についてお聴きするアンケートを何らかの形でしていく時期が来るのではないか。今はこうやって地区を歩かさせていただいているが、商工会議所や自治会連合会や他の色々な青年団体、老人団体などの諸団体の方々のご意見をお聴きにあがることもしていかなくてはいけない。

公会堂については、耐震補強が可能であり、椅子もゆったりとしたものにしてやっていこうということでようやく設計が通ったところで、公会堂は今ある場所を活用していくという方針を出している。ルルサスの実情を見れば賑わいの創出は今の防府市では無理ではないかというお話をいただいたが、まちづくりは永遠の課題であり、私どもの立場としてしっかりと見据えてやっていきたい。

向島地域 庁舎建設に関する検討会

【日時】 平成29年4月15日（土） 午後3時30分～4時30分

【場所】 向島公民館 集会室

【出席者】 向島地域住民ほか 計32名

【市説明者】 松浦市長、村田副市長、末吉総務部長、石丸庁舎建設室長、竹末庁舎建設室次長、工棟庁舎建設室建設推進係長

【配付資料】 「防府市新庁舎建設について～庁舎建設に係るこれまでの経緯等～」

- 【概要】
- 1) 市長あいさつ（松浦市長）
 - 2) 庁舎建設に係るこれまでの経緯等（石丸室長）
 - ・候補地選定の経緯を中心に説明
 - 3) 質疑応答

【質疑応答の概要】 *各発言は、要旨を簡略化して記載している。

◆質問者1

新庁舎になった場合、公会堂の北側の文化福祉会館は新庁舎と一緒に場所になるか。一緒に場所になるとすれば跡地の利用はどうか。

●庁舎建設室長

文化福祉会館は耐震性がないので、今のところは移転させるという話ではなく、まずは、耐震化してもたせる方向について検討している。公会堂については耐震改修する方針であり、壁や椅子などもやり換えて、あと20年くらいもたせようということになっている。

◆質問者1

そうすると、文化福祉会館を現在の位置に耐震補強したときに公会堂の駐車場は、立体にするとか、面積を増やして台数を確保するとかの案はあるか。

●総務部長

公会堂は現在の場所で改修予定。一旦、骨組みだけにして壁から座席からリニューアルしていく。文化福祉会館については耐震性がないということで確認した結果、耐震補強はできるが、あの場所で耐震補強するのが良いか、あるいは移転するのが良いか、全庁的な公共施設のマネジメントという考え方で、プロジェクトを作ってようやく検討の緒に着いたところ。もし、文化福祉会館が移転すれば、公会堂の裏を駐車場として利用することも可能。

◆質問者2

山口の新庁舎を合併のときには小郡にもっていくという約束があった。もし合併していたら防府は取り残されていた。今回がコンパクトシティを作る最後のチャンス。駅北と現在地の違いを皆さんに十分理解してもらいたい。50年後に悔いの残らない選択を

して欲しいと思う。

◆質問者 3

コンパクトシティと言うが、防府の人の考え方で、最初の2、3年は人口が増えるとか、集客できるとかあるだろうが、それを過ぎると変わらないと思う。庁舎が安くできるのなら、地方の人が集まるような施設を作って欲しい。

◆質問者 4

4月15日号市広報の市長からのメッセージの中の別表に単純な計算違いがあったので、確認のため電話したら利息の関係と言われた。ちゃんと説明が欲しかった。

●庁舎建設室次長

25億と書いてあるところが、本当は24億9千9百…であり、端数の切り上げの関係で表示が違っているので、お詫びします。最終的に現在33億円まで積みあがっていることは間違いありません。申し訳ありませんでした。

◆質問者 5

3月27日に現在のところと駅北のふたつとも今から考えていくと言いながら、資料の最後のページを見ると、「B案による事業推進を基本としつつ」とあり、決め打ちになっている。

駅北に行くとき、交通アクセスはほとんど車だが、交通渋滞の想定はされているか。今でも大変な渋滞がある。それを十分まかなえるだけのものが確保できるのか。

●庁舎建設室長

基本構想・基本計画は、駅北公有地エリアで計画を作った。その道中で場所について賛否が沢山あったので、市議会が3月27日にもうひとつ作れという決議をしたということ。そのもうひとつはまだできていない状態なので、現庁舎の案は、今は入っていない。それをどうするかは、皆さんのお声を頂戴しているところで、何らかの対応を考えたい。

交通渋滞については、交通量調査などでは、駅北の交通量は少ない。入口で渋滞が出ることもあるので、敷地内の動線を長く取るなど設計で考えていきたい。

◆質問者 5

現在の交通量だけでなく、ここに作ったときの想定をしておくべき。

●市長

検討委員会を立ち上げてご判断をいただいたことを、私たちは尊重する立場にある。そうでなければ、何のための検討委員会かとなってしまいます。3月27日に議会で現庁舎での案も示せという決議があり、重く受け止めているが、作るとなれば予算も必要。そのときには4月1日から地区を回ることは決まっており、それに対する資料なども用意できないまま、最初に作ったものをお示しして、ご説明させていただいている。

車の混雑も、おっしゃるとおり、今は閑散としていても、庁舎ができれば、人が殺到する。今の案は、駅北公有地エリア、あの辺りということで漠然と描かれているので、道路の拡幅や用地の取得なども必要になってこよう。

今まで10箇所で話しをさせていただいたが、駅北ありきでやっているんじゃないかとの強いお叱りの声が満ちており、私はそうではない、駅北ありきではない、駅北でやるならば、議会の3分の2の賛成が必要、今のところでは過半数の賛成が必要。どちらにしてもそろそろどこかに防府の庁舎を作らせていただかなければ将来禍根を残すことになりかねない。駅北のあの辺りに、おおよそ500億円位が投入され、まちづくりが行われてきた。今に生きる者として、過去、先人が苦勞されたまちづくりに正面から向き合うことを避けてはならない。これからいろいろな団体の皆様のご意見もお聴きし、必要とあらば、どこの位置を市民が望んでおられるかというアンケート調査なども実施していく。賑わいの創出にはならないという意見もあるが、賑わいの創出をあきらめるわけにはいかないのです、どういう方法があるか考えていかなければならない。真正面から取り組ませていただいております、決め打ちでやっているということではないので、ご理解をいただきたい。

富海地域 庁舎建設に関する検討会

【日時】 平成29年4月15日（土） 午後6時～7時

【場所】 富海公民館 大会議室

【出席者】 富海地域住民ほか 計16名

【市説明者】 松浦市長、村田副市長、末吉総務部長、石丸庁舎建設室長、竹末庁舎建設室次長、工棟庁舎建設室建設推進係長

【配付資料】 「防府市新庁舎建設について～庁舎建設に係るこれまでの経緯等～」

- 【概要】
- 1) 市長あいさつ（松浦市長）
 - 2) 庁舎建設に係るこれまでの経緯等（石丸室長）
 - ・候補地選定の経緯を中心に説明
 - 3) 質疑応答

【質疑応答の概要】 *各発言は、要旨を簡略化して記載している。

◆質問者1

国からの援助などもないので、財政面を考えて、現在地での建替えを希望する。

◆質問者2

何でもやろうと思えば障害があるはず。現庁舎なら安いといっても、現庁舎で今あるものを潰して建替えとなれば、なかなか進まないとか、色々な支障が出てくるはず。駅北なら、こういう位置でやるんだという信念が欲しい。お金がかかるけど、皆がこれならいいなあという気持ちになるような、市の意志が感じられない。もっと気持ちを前面に押し出して説明して欲しい。高くつくとか安くつくとかの説明ではなくて、北に建てれば、活性化になる、建替えるまでの期間中の支障もない、というようなことをもっと言うほうが良い。

●庁舎建設室長

現在地を希望するという意見は、これまでも沢山いただいているので、受け止めさせていただく。やる気の問題というお話があったが、説明を割愛した部分を少しご紹介したい。3ページの左下の将来像のところだが、防府市の都市再生をしようということで、市庁舎をそのきっかけにしたい。そのためには、今後策定する中心市街地活性化基本計画などに織り込んでいく必要があるが、市庁舎を建替えるというチャンスを居住の誘導などに活かしていきたい。

民有地なども含む計画になるので書けないところもあり、具体性に乏しいと言われるとそのとおりだが、説得力がないという貴重なご意見をいただいたので、今後、書けていない部分については努力していきたい。

◆質問者3

折角、80億、100億のお金を投じて新庁舎を作るのであれば、何かの引金になっ

て防府が変わってくる、そういうものを作って欲しい。停滞している都市の起爆剤になるような、ここに作ればこうなるんだというようなものに乏しいと感じる。

◆質問者 4

先ほどの説明は、防府の駅前北側にシニア層の人を集めたいというように受け取ったが、今からこの中心地に居住される人を集めていくという意図があるということか。

●庁舎建設室長

引金、起爆剤の件は、正にそのとおりだと思う。八王子一丁目の街区は、昭和12年から耕地整理というものをやっている。昔の形のままとというのが停滞の原因かも知れない。今後、できるだけ具体的な絵を描いてお示ししたいと思っている。

居住については、シニア層だけでなく、若い人達にも住んでもらって、できれば三代くらいが入り混じっているのが一番良いだろう。ここにピンポイントで人を集めようというわけではないが、役所を作ることで少なくともこの辺りで民間活力などのマインドが刺激できると良いと思っている。

◆質問者 5

富海の場合、駅を利用して行くときの利便性が考えられるが、防府駅の場合、富海と大道しか駅がないけれども、富海では駅が重要視されるのではなく、これからも車社会というのは避けて通れないと思うので、駐車場が十分確保できる場所がいいと思う。

◆質問者 6

私も市役所をよく利用するが、効率の悪い建物だなあとと思う。1号館、2号館、3号館とバラバラになっている。敷地を一杯に活用して効率の良い建て方をしたら良い。

●庁舎建設室長

おっしゃられたとおり、現状では市役所に行くのに電車に乗っていく人は少ない。どちらに建てるにしても駐車場は必要。駅北公有地エリアでも一部立体駐車場になるが、180台は確保することになっている。現行の146台より少し増える。

現庁舎は高度成長期に継ぎ足し継ぎ足しで作ってきた。今度建てる場合は、一戸建ての効率の良い建物にしたい。

●市長

一刻も早く最新の情報を市民の皆様にお示ししたいという気持ちで4月の連休までの間に全地区を回っている。この後も、例えば、自治会連合会の方とか、商工会議所の方とか、青年部の方とか、JCの方とか、老人クラブの方とか、障害者団体の方とか、ご説明をしていく必要を大いに感じている。その上で、自分たちはこういう形でまちを作っていこうと考えておりますということをしっかりお示しできるんじゃないか。信念が欠けている、もう少し気合を入れてやらないかと思われる部分もあるのかも知れないが、別の見方をすれば、駅北ありきでどんどん進めているというお叱りも受けている。様々なご意見が交錯している中で、判断を誤ることのないようにしていかなければならない。

行政体としては、検討委員会でいただいた判断を尊重していくことは当然のこと。まだまだ議論は続くだろうし、そろそろどこかに市役所を作る必要があり、その準備を着々とやってきたということをご理解いただきたい。熱心なご討議をいただき、心から感謝申し上げます。

牟礼地域 庁舎建設に関する検討会

【日時】 平成29年4月16日（日） 午前10時～11時30分

【場所】 牟礼公民館 大会議室

【出席者】 牟礼地域住民ほか 計43名

【市説明者】 松浦市長、村田副市長、末吉総務部長、石丸庁舎建設室長、竹末庁舎建設室次長、工棟庁舎建設室建設推進係長

【配付資料】 「防府市新庁舎建設について～庁舎建設に係るこれまでの経緯等～」

- 【概要】
- 1) 市長あいさつ（松浦市長）
 - 2) 庁舎建設に係るこれまでの経緯等（石丸室長）
 - ・候補地選定の経緯を中心に説明
 - 3) 質疑応答

【質疑応答の概要】 *各発言は、要旨を簡略化して記載している。

◆質問者1

1月28日のシンポジウムに行き、30日に庁舎建設室に行き、現在の場所で建替えるなら30億円少ないという話があるがと問うたところ、そんな話はないと言われた。3月27日に議会の決議があり、今日が4月16日。現有地の検討などしていないと言ったのに、たった何日か出てきた。嘘を言うなど言いたい。今の話を聞いても北に行く理由など全然ない、あるわけがない。今までの各地区でもみんなにそう言われたでしょう。

◆質問者2

駅前このような市役所が移転している場所は全国にどれほどあるか。もし、あるとしたらどれほどの経済効果があるか。それが全く資料の中に書かれていない。まだ決まっていないと言うが、言い方は新しい土地で進めようとしている。新しい土地に何かがあるのか。新しい土地に行きたいとしか聞かえない。公平性が保たれていないと感じる。駅前に市役所を作って、どれほどのまちづくりの効果があるのか。カネボウの跡地に作られたロックシティが駅の前にあったほうがよっぽど良かったと思う。

◆質問者3

現有地と駅北と双方の説明をきちっとして、我々にどちらがいいのかという判断を仰ぐ場と思って参加した。だが全然違う。いかに駅北が良いかということばかり説明して推し進めている。全く公平ではない。議会の全員の議決があったから、今、ようやく現有地の資料を出しているがおかしいでしょう。

今、こういう風に市内を回って説明をしているが、この集約は誰がどうするのか。例えば反対意見が多くても市民にはわからない。全部公開するのか。そういうのは非公開のことが多いので是非公開してください。こういう地域の意見もレコーダーで録っているなら、録りますよという許可を得るべき。もう少し公平にやってください。

◆質問者 4

駅北の用地取得は始まっているのか。市の借金がどれ位あってどういう風に返済されているか、今のところに建てるのと北に建てるのでは、借金はどちらがいくら多く、どういう風に返していくのか、そういう案を示して欲しい。

◆質問者 5

議会の決議が全会一致でされたが、翌日の新聞で今すぐ策定する計画はないとか、白紙だとかコメントされている。ならば、どういう対応をし、いつから策定するのか。

議会棟をそのまま使うと10億は要らなくなる。用地の取得費は、現在地であれば9億要らなくなる。財政で将来世代に負担をかけないようにしたいと言いつつも、それだけでも20億が上積みになるのはいかがか。

委員会の意見では、地域性・歴史性との関係で駅北が有利ということだが違和感を覚える。資料にも「他の官公署との関係等について適当な考慮」とあり、市役所の近くに、保健所が昭和42年、昭和46年には防府警察署、昭和51年には県総合庁舎ができています。そういうことで考えれば今のところがベターじゃないかと思う。

コンパクトシティとか集約型都市づくりとか言われるが、中心部の視点で物事が進められている。議会有志のアンケートでは、中関やあちらのほうの地区では特に現在地が良いというのが8割から。周辺部の視点も大事ではないか。

●庁舎建設室長

最初の方のお話については、平成28年1月に想定概算事業費を出したときには30億の開きがあった。選んだ後に精査したので30億という数字の開きはなくなっているというお話を差し上げたと思っている。

全国での駅前への市役所移転の事例はあるが、移転後、それほど年数が経っておらず、経済効果が出ているか算定までできていないというのが実情。庁舎の建替えは現在50箇所位で検討しており、その中で22箇所位は移転を検討している。工場の空地ができたとか、ショッピングセンターが撤退したとか理由は様々だが、まちの発展とかまちづくりを考えて積極的に出て行こうという事例はあまりないので、防府市は珍しいと言える。

駅北を推し進めているように見えるとのことだが、駅北公有地エリアでの計画を作ってその説明をしているので、そういう受け取り方をされるのは致し方ないかも知れない。

公開の件は、細かく議事録までは出さないかと思うが、どんな質問があり、どんな答えをしたかということは、ホームページでもご覧いただけるような形にしてお見せしたい。議会でも報告することになろうし、そのつもりで準備を進めている。

用地取得については、地権者の方には何も申し上げていない。問い合わせなどはあったりするが、それにもお答えができていない。

借金の状況は、防府市は県内でも一人当たりの借金はトップクラスで少ない。全国的にも少ないほうだが、だからと言って100億位なんでもないというわけにはいかず、

慎重にやっていかなければならない。今は金利が安く、借りやすい状況にはあるが、財政の硬直化にも繋がるので、なるべく借り方は少ないほうが良い。

周辺部の視点ということでは、特に周辺部のコミュニティの保全が一番大事で、防府市のコンパクトシティの考え方は、小学校区を健全に保全するという考え方である。庁舎のことだけで見ると、中心部ばかりに見えるかも知れないが、大きな計画の中ではそういう思想で考えている。

他の官公署を集めていくという流れは確かにあったが、今や、国や県も集約を考えられており、状況は変化している。

◆質問者 6

今まで聞いていると駅前に建てるのが当たり前のように言っている。この前の震度3の地震で市営住宅の壁が落ちているのに、市は知らん顔。庁舎を建替えるよりほかにお金の使い道がある。車がぶっ飛ばして走る危ない道路の幅を広げるとか、市民の安全を考えるなら先にやるべき。

◆質問者 7

昨年5月の議会報告会に出席した。そのときはかなり金額の開きがあり、そんなにお金をかけたくないというのがみんなの意見だった。今日の話でそんなに差はないということなら、どちらでも良いと思う。絶対に建替えなければいけないのだから、いつきも早くやって欲しい。市役所で働いている市の職員は震度6の地震が来たら死んでもいいのか。市の職員も一市民、しっかり考えてあげたい。

新しいところのことばかりで古いところのことを全然言わないというのは、少し市の進め方にも問題があったのではないかと思う。物事を始めるときにはどうしても新しいことのほうにウェイトがいくのは仕方ないが、古いところがなおざりにされてしまうという感覚が残るのはどうかと思うので、今から進めていく上でも考えて欲しい。

歴史と調和した庁舎というのは、関係ないと思う。あすこに作ってあの地域が発展する必要もない。商売をしている人がよりよく商売をすれば発展する。ゆめタウン・イズミやロックシティが発展しているのは、あの人達が努力をしているから。まずは商売人同士が競うべき。それをしないで、あの辺りの発展のことを市が考える必要はない。

車の流れはあまり変わらないようにするのか。駅の前に駐車場ができるので、タダならとても便利になる。そのあたりはどうか。

◆質問者 8

公的不動産の活用ということで駅北と言われているが、移転したら、現庁舎の跡地はどうなるか聞きたい。

●庁舎建設室長

庁舎以外に他にやることがあるだろうということは、十分わきまえておきたい。庁舎の建替えは耐震性がないということからのスタートなので早く急がれるのは間違いない

が、どちらが先かと言われれば市民生活の安全安心の確保であろう。

金額の差がなければどちらでも良いという意見があったが、そういうご意見は初めていただいた。今後、もっと具体性を帯びたプランだとか、また、現庁舎敷地についてもお話があったが、議会からも決議をいただいております、しっかり対応を考えていきたい。

駐車場については、まだ何も決まっていないが、民間駐車場を圧迫するといった観点もあるので、有料化の方向で検討することになるのではないかと思います。

跡地利用については、資料にもあるとおり、今後の検討課題になるが、今までの議会の一般質問などでは、当面、売却はしないというお答えをしている。

◆質問者 5

公共施設は国も県も引き揚げるということがありますが、宇部の市役所は税務署と一緒に建てる。防府の場合も税務署を誘致することが考えられないか、そうすれば利便性も高まるし、税務署の跡地が公会堂の駐車場として使える。

◆質問者 9

皆さんの意見が色々あると思うので、最終的に現庁舎でいくのか、駅北でいくのか、挙手をしてもらって反映してもらいたい。市議のほうでもアンケートを取って7割、8割が現庁舎がいいと言われている。

駅北では百十何億かかるが、更に安くならないか検討しているということだが、現庁舎の敷地でも同様にやってほしい。駅北では用地の取得が必要で、固定資産税の負担などは長い年月で見て、現庁舎と比べてどうか。

立体駐車場は事故も多い。現庁舎は平面で、市の職員も止められる広い駐車場がある。立体駐車場になったら、前の道路が狭く、道路を広げるための用地もかなり必要ではないかと思うので止めたほうが良い。

◆質問者 10

防災の件を非常に危惧している。熊本地震から1年だが、あれは熊本の話で、うちには絶対起きないという前提で話している気がする。地震が来るということを前提に話をすべき。市役所は防災拠点なので、壊滅的な地震を受けたときに本当に対応できるのか。災害のことを第一に考えた市役所づくりをして欲しい。

◆質問者 11

こちらに来て14年、そんなに防府のことはわからないが、北と南で、北は魅力がない。魅力があるまちづくりということでいうと、庁舎というのはインパクトがある。人が沢山来られるようなアクセス方法などを考えながら、現庁舎の跡地利用も公表しながら、やってもらいたい。北には、ルルサス、アスピラート、山頭火の会館など、スポット的にあるが、トータルで人の流れがあるように、起爆剤になるような防府駅周りを作っていく、防府が魅力あるまちになって欲しい。

◆質問者 12

北に目を向けると、天満宮に関しても、駐車場が商店街を全く通らないところにある。商店街自体が観光に対してすがって生きてきていないよう。人口が減る中で、未来の子供たちに遺恨を残さないような場所の選定をお願いしたい。

◆質問者 13

利権と捉えられてもおかしくないような説明をされる。本当にまちの発展を考えるなら企業誘致しかない。その大事な場所に市役所がでしゃばる。移転した場合、土曜日、日曜日にどのように市民を集めるのか、もっと具体的に書いて欲しい。

●庁舎建設室長

宇部の話があったが、我々も国の財務事務所と話しているが、厳しい状況。協議は重ねていきたい。アンケートをとるといふ話は、そういうものがないと前に進まないのかも知れない。固定資産税のことは十分に考えていかないといけない。立体駐車場が危険という声はたくさん聴いている。設計段階で検討することになるだろうが、全部を立体にするのではなく、平面駐車場も組み合わせるなど考えたい。道路の出入口についても設計の中で危険にならないようにしていきたい。防災については、大変重たいこと。市の職員も不安でない者はいないと思う。大変ありがたいご意見。北に魅力がないということについては、何か手立てを考えていくべき。商業については、自助努力が基本だが、相乗効果を出していけると良い。遺恨を残さないようにということについては、できるだけ時間をかけてじっくり考えていきたい。利権だとか癒着だとかいうことは一切ないので、それはご理解を賜りたい。土日はイベントなどでにぎわうようなことを考えたい。

●市長

大変熱心に様々な角度からのご意見をいただいた。約2年かけて、色々なご意見を聞き作り上げてきたものをご説明するのは、私どもの役割。今の市役所のところで考えたかどうかという意見を議会からいただいたが、3月27日にいただいたばかりで、まだ、方向性を出していない。駅の北側ばかりの話になっているということは、駅北側の用地を活用して庁舎を作ったらいいという判断をいただき、どうしてもそれをお示ししなければならないということ。交通の問題なども出たが、なるほどと思って聴いていた。

じっくり皆さんのご意見をお聴きし、じっくり考えて、投資もなるだけ低い投資で、しかも頑強なもので、しかも利便性のいいところに、かなうことならまちの発展に繋がっていくところということ。先人が30年前では想像できなかった防府市の姿を作ってくださっている。その努力に添ってがんばっていく姿勢を今に生きる私たちは行政として欠かしてはならない。

今月中に各地域を回り終え、青年会議所とか老人クラブとか商工会議所とか障害者団体の方々とか、色々な方々のお話もお聴きして、判断を加えていきたい。

今日の会が市が進めていく納得してくださいますという集まりの会でないことはご理解いただきたい。

西浦地域 庁舎建設に関する検討会

【日時】 平成29年4月24日（月） 午後6時～7時30分

【場所】 西浦公民館 集会室

【出席者】 西浦地域住民ほか 計54名

【市説明者】 松浦市長、村田副市長、末吉総務部長、石丸庁舎建設室長、竹末庁舎建設室次長、工棟庁舎建設室建設推進係長

【配付資料】 「防府市新庁舎建設について～庁舎建設に係るこれまでの経緯等～」

- 【概要】
- 1) 市長あいさつ（松浦市長）
 - 2) 庁舎建設に係るこれまでの経緯等（石丸室長）
 - ・候補地選定の経緯を中心に説明
 - 3) 質疑応答

【質疑応答の概要】 *各発言は、要旨を簡略化して記載している。

◆質問者1

3月議会で現庁舎敷地での基本構想・基本計画案を作るべき、今の案と併せ2本の案をもって市民の意見を聞いたかどうかという決議が全会一致で可決された。これをどのように受け止め、どういう行動を起こそうとしているか。

◆質問者2

昨年の議会報告会でこの話があったが、現有地敷地の議会棟を残す案は60億、北での建替えが120億であった。これが今回は現有地で87億、北が118億、現有地が上がって、北が下がっているのは疑問。

北の場合、民有地をわざわざ買って、固定資産税が飛んでいくことは疑問で、将来的に我々の固定資産税の税率に反映したらやばいので、私は議会棟を残す案を主張する。

●庁舎建設室長

先週も庁内会議で議会の決議について話し合ったが、結論は出ていない。今週で地域を回り切るので、対応を決めていきたい。

議会報告会での数字については、私たちは関知していないところ。固定資産税は税収の基軸であり、気にはしているが、そういうことも考えながら検討していきたい。

●市長

現有地を活用して駅北とどちらがいいかを市民にわかりやすく説明したらいいという議会の決議は、そのとおりに検討に入る場合、今、示している案くらいの形であったとしても、かなり予算と月日がかかるのではないかと。今日の資料の4ページの上にある程度の絵図面ならば、そんなに難しいことではないと思っている。私ども行政体としては、検討委員会でご協議いただいて方針が示されたことについて、軽々に扱うことは許されず、提示いただいた判断について肉付けをしながら説明に上がっている。これはこれとして、現有地の案を直ちに示していくということは、行政体としては、折角、練りに練

っていただいたものをしっかり市民の皆様にご得心いただけるよう説明し、ご意見をいただいて、参考にして対処することが肝要。

現有地と駅北の差が大きいということは、土地を買い取っていかなければならない、道路を広げなければならぬなど、駅北の場合には課題が出てくるのは止むを得ない。現有地の場合には、仮庁舎を作り、引越しし、庁舎ができたならまた引越ししという経費も当然かかってくる。別のところに作るのであれば、手間は随分削減される。固定資産税等々、市民の皆様にご負担が跳ね返ってくる懸念については、そのようなことのないようにしていくことが大事。駅北、駅南には30年間でおよそ500億円位を投入してきた。まちづくりに賭けた先人のご苦勞、投資をしっかりと伝えていく責務がある。ひとつの大きなプロジェクトが街中で行われることをまちづくりに資していくことが大切。

◆質問者 1

今聞いた限りでは、議会が全会一致で決めたことをやりそうにない。それはおかしい。時間をかけてでもじっくり計画を練るのが筋。

◆質問者 3

図書館をよく利用するが、ルルサスの中にあり、立体駐車場は大変。重たい本を持って長い距離を歩く。駅北で民間活力をと言うが、ルルサスの例があるのでよく考えて計画して欲しい。現庁舎には馴染んでいて、広いし、車を置くのも便利。現庁舎の案は是非作って欲しい。

◆質問者 4

耐震性がないということでの建替えであれば、駅北は現庁舎に比べて耐震性が高いのか。あすこは佐波川の伏流水が流れているので、コンクリートパイルを打つにしてもかなり深く打たないと液状化現象が起こる。そういうところも考えて、この案を出しているか。桑山の現庁舎のところは、ある程度岩盤があるらしい。そこをよく考えて欲しい。

◆質問者 5

西浦の人は、図書館は山口とか秋穂に行く。新聞を読んだら終わり、お金が発生する。戸籍は防府で取らないといけないので、市役所は山口市には行けない。もうちょっと考えて欲しい。

◆質問者 6

駅北と現庁舎を比較して、まず交通網。現庁舎は非常に整備されており、東西南北に行ける。駅北は駅という行き止まりがある。現庁舎に是非建替えて欲しい。

駅北にすれば、かなりの金額が上回り、防府は差押の件数も多く、生活も苦しい中で、これだけの大きな金額のものを作るのはもったいない。もっと生活に関するところできちっとお金を使って欲しい。

●庁舎建設室長

現庁舎の計画を時間をかけてでも練るべきだというご意見は、持ち帰って考えさせて

いただく。図書館の件は、立体駐車場では遠いということはあるだろう。返却などでは工夫できるだろうが、そうした声があるということは担当課にも伝えたい。

ルルサスの店舗は、最近は通販なども流行っていて、物品販売は難しいところがある。物販で全てを埋めるのは難しいという前提で考えていかななくてはいけないだろう。

現在地に馴染みがあるということについては、ごもっともなご意見である。

土地の液状化に関しては、駅北はボーリング調査などはしていない。現庁舎はボーリング調査をしているので大体はつかまえているが、少し軟弱地盤がある。

図書館の実態、利便性に問題があるというお話だったかと思うが、その辺も伝えて検証させていきたい。

交通網については、車を前提とせず歩いて暮らせるというようなことも言っているが、車がないと困る方もいるので、配慮したい。渋滞対策としては、場内での動線を長めに取るとか、立体と平面の駐車場をうまく組み合わせるなど考えたい。

立派な庁舎を作って、他の分野にしわ寄せするようなことはあってはならない。

◆質問者 7

27年にアンケートの依頼が来たので出した。パブリックコメントも出させてもらったが、結果は公表されているか。

この会場に若い人たちがあまり見られない。若い人達の見解はどう捉えているか。

◆質問者 8

延床面積が18,000㎡になっているが、ITが発達している中で本庁舎と西浦支所を結ぶなどして、庁舎の面積はできるだけコンパクトにしたら良いと思う。

◆質問者 9

一番最初に市長が庁舎を建替えなければと思われたきっかけ、新しい庁舎を作らなければいけないと決意されて、議会で条例を通された、最初のところをよくお聞きしたい。

●市長

若い人達の見解をしっかりと聞いてはどうかというご意見。大変ごもっともなご意見で、こうした会合があと3箇所残っているが、その後、商工会議所、青年会議所、青年部、女性部、老人クラブ、障害者団体などの様々な団体、職域の方々のご意見も頂戴して回ろうと思っている。今、私の耳に入ってくる若い人達の声は、将来を考え、まちなかをコンパクトシティにしていくべきだという意見。

本庁舎はこれからのITの進み具合も勘案しながら、支所、公民館をもっと充実させ、本庁舎との連絡を密にして、地域の方々の利便性に役立て、本庁舎にかかる経費を少しでも減らしていく。

市長に就任した直後、当時、雨漏りもしていたし、1号館にはエレベータも設置できない状況だった。大事に使ってもいつかは使えなくなり、補助金も一切ない中で、いつかはどこかに作らなければならない。個人的な思いで駅北と言っていることは全くないので

ご理解いただきたい。

図書館については、わっしょい文庫で市内各地を回っており、可能な限り対応させていただきたい。行政が言っている耐震性とは、現在建っている建物の地震に対する耐久性であり、地盤のことまで考えてのことではない。

◆質問者 2

物を売る時代ではないと言いながら、北口では活性化して商業が生まれると言う。市役所や県庁があるところは官公庁で商業の発達した事例を知らない。建物ではなく市道を通して後は民間でというならわかるが、矛盾する考えではないか。

◆質問者 10

懇話会の中の委員さんの意見を聞くと、庁舎の外に民間の駐車場を借りて、そこから歩いて役所に行くという発想があるが、脱車社会を目指しているのか。

コンパクトシティとはどういうものをコンパクトシティと言うか。既に防府市はコンパクトシティだと思われ、改めて、そういうことをやる必要がないと思うがいかがか。

◆質問者 11

立体駐車場になったら、有料の駐車場で、証明を取りに行ったときにもお金がかかることになるか。立体駐車場にすると余計に維持管理費が発生する。駅前に引っ越したら、今ある土地を整理するお金が更にかかると思うがどのように考えているか。

●市長

庁舎と商業の両立については、商売人は商売人でそれぞれ頑張るしか、基本的に発展は難しいと思っている。しかし、まちなかに巨大な投資をする以上、まちの発展に繋がっていかなくてはならない。建てた庁舎の上にホテルを入れたり、老健施設にしたり、マンションにしたりすることも可能ではないか。具体的な案を持っているわけではないが、いろんなプロジェクトを考えたい。

脱車社会のお話は、高齢の方がいつまでもハンドルを握るわけにも行かない。公共交通網の整理も必要になってくるのかなあとと思っている。

駐車場については、民間を当てにしようとしているわけではないが、民間の方があらゆる機会をつかまえて商売の糧にされることもあるのかも知れない。

コンパクトシティの概念については、話せば長くなるので、割愛させていただきたい。

立体駐車場になった場合は、まちなかの駐車場なので、基本的に有料にするのがいいと思っている。時間を考え、2時間とか、会議で4時間、5時間は無料でよいが、市役所に置いてどこかに行くとか、東京、大阪に行くとかいうことが頻繁に起こるようでは困る。ただし、日常の市役所の利便性に不自由をかけてはならない。

現在の市役所の跡地利用については、まちなかの大きな土地を売るようなことをしてはならず、有効活用したい。あくまで仮の話で言うなら、大学の立地用地だとか、その他いろいろな行政需要が起こってくるかも知れない。

私自身は全く焦っていない。4月1日から回り始め、様々なご意見を頂戴しており、それらを整理整頓しながら、団体や職域、年代別の方々、障害団体の方々などのご意見もお聴きして考えていきたい。

現庁舎についてどんなことができるか考えることも、何らやぶさかではない。議会からもそのような話をいただいている。現庁舎を活用した場合どうなるか可能な限りお示ししていきたい。

華城地域 庁舎建設に関する検討会

【日時】 平成29年4月25日（火） 午後6時～7時30分

【場所】 華城公民館 集会室

【出席者】 華城地域住民ほか 計49名

【市説明者】 松浦市長、村田副市長、末吉総務部長、石丸庁舎建設室長、竹末庁舎建設室次長、工棟庁舎建設室建設推進係長

【配付資料】 「防府市新庁舎建設について～庁舎建設に係るこれまでの経緯等～」

- 【概要】
- 1) 市長あいさつ（松浦市長）
 - 2) 庁舎建設に係るこれまでの経緯等（石丸室長）
 - ・候補地選定の経緯を中心に説明
 - 3) 質疑応答

【質疑応答の概要】 *各発言は、要旨を簡略化して記載している。

◆質問者1

ここまで各地区の検討会で受けられた感触をお聞きしたい。

昭和29年に車塚から現在地に来たときには随分慎重に検討しているはず、市民も利用慣れしているものを簡単に駅北にはできない。先人の考えを尊重して進めるべき。

駅北では事業費も30億も多く、期間も長くなる。現庁舎跡地の利用計画もまだない。駅北に行くと議会棟はどうなるか。周辺の代書屋さんも深刻に考えている。そういう付随することもきちっと説明をして欲しい。

今の進め方が駅北ばかりで、現在地も方向性をつけてもらいたい。3月議会での全会一致の決議は重い。その後、時間的にもないのでまだだろうが、駅北だけなのには反対。

●庁舎建設室長

各地区での感触としては、割と似通った質問が多い印象。例えば立体駐車場が危ないかとか、道路の渋滞が起こるのではとか、といったことには設計段階で検討していくということをお答えしている。まちづくりの関係では、将来性、事業効果などの具体性がないということもある。使い慣れているということなどから駅北には行きたくないという意見も多い。跡地利用を決めると判断がしやすいとか、駅北ありきということも言われる。庁内で会議も早速進めており、早めに結論が出せるようにしていきたい。30億位違うという話があったが、選定の段階ではそれだけ開きがあったが、今はそれだけの違いはないと思う。はじき直してみないとわからないが、そこまでの差にはならないと思う。

◆質問者2

防府市民で今の防府市役所の位置がいいという人が70パーセントから80パーセント。これに対し、どうして防府駅北を主張されるか、民意に反する。その点について、

松浦市長に回答をお願いしたい。

◆質問者 3

庁舎を建替えるのには異論はないが、借金に当たる市債が40億超という中で新たに借金を作るより、小野田市長が20億節減したというようなこと、いいことは真似して、人口が減る中で、少ない予算でいい物を作る、借金を増やすことは感心しない。

庁舎はお金を儲けないので、市民が望むことをやるべき。防府の財政に応じたものを作り、もしお金を使うなら、中関の朝の渋滞を解消するとか将来的には考えたい。

◆質問者 4

長年馴染み親しんだ、交通の利便性が高く、警察、法務局が近くにあり、環境のよい現在の場所から駅前の四方を狭い道に囲まれ、交通の混雑が予想され、周りが飲食店やパチンコ店、ホテルに囲まれ、環境の良くない移転予定地に移転するのはなぜか。

自分の周りには庁舎移転建設を知らない人もかなりいるが、移転建設について市民投票の実施はなぜ検討されなかったか。

◆質問者 5

私は駅北に賛成。今、駅周辺にはマンションが沢山建ち始めている。駅周辺にそういうものが建ってくると資産価値が上がり、将来性があるということであくさんの人が駅北に集まってきている。そうすると税収が増える。単純に今いいところということではなくて、将来のまちづくり全体を考えて、そういう判断が必要ではないか。リーダーシップというのは、こういうまちづくりにしていく、こういう取組をしていくことが将来のためになるということをしちんと説明していくことが大事。駅北に移ることによって防府が大きく変わるきっかけを作っていくことが大事。景気は気持ち。そういうことで人が動いていく。今のまま建替えただけでは全然変わらない。将来の子供たちのために庁舎が起爆剤になる。

◆質問者 1

高齢化社会が進行中の本市の福祉事業を国際的水準に引き上げる方針を立て、高齢者に関わる全ての行政サービスを駅北に集中させて、国内はもとより国連からも先進視察団を受け入れるような施設を作り出すことを提案したい。

庁舎を駅北に建てるのは、アクセスの面でデメリットがあり、現状での建替え、駅北は今の提案で慎重審議をお願いしたい。

●市長

私は駅北ありきで話に入っているわけでは全くない。検討委員会で長時間ご協議いただいた結果の一定の結論を無にすることはできない。ご判断いただいたことに基づいて我々が計画を立ち上げ、それをご説明に上がっているという状況。

こうやって地域を回らせてもらっているが、各団体、若い人達の団体、商工会議所、老人クラブ、母親クラブ、食推の方々とか、ご説明していかなければならない。

民意に反するという話もあったが、選挙前に現有地が相応しいと言われる議員の方々

が出されたアンケートは見させていただいている。

新たな借金をこしらえる必要はないのではないかということについては、行政改革を随分やってきたので、ようやく防府市が庁舎建設のところまで来ることができたということでご理解をいただきたい。極論を申し上げますと、現有地の一番危ない1号館だけ建替えれば済むのかも知れない。しかし、折角、大きいお金を投入していくのであれば、まちなかで将来のまちづくりを視野に考えることが妥当という委員会の結論をいただいて、それに準じていくことが行政体としての役割。市民投票ということであったが、例えば無作為抽出による何千人かのアンケートを実施することも今後必要ではないかと思っている。

市民の皆様には一箇所で用事が済まないとか、ご不自由をおかけしているが、私自身は全然急いでいない。

●庁舎建設室長

福祉については大変重要であり、他の施策にしわ寄せするなというお話もあったが、福祉は絶対に外せないと思っている。

◆質問者6

私は賛成する。耐震性のない庁舎を直していくより、別のところにしっかり建てて、もし地震が発生し、市の庁舎が倒れたりしたら、怪我した人は大変。直している間は仕事ができない。場所が変わると印鑑証明を取りにいくにも遠いと思ったりしたが、住民票や印鑑証明などは出張所で取れる。駅前に立派な庁舎が建っていることは多いこと。

◆質問者7

東南海地震の確率が非常に高いと報道されており、市役所は建替えなければならないことは理解する。広報の4月1日号に当年度予算が412億と載っている。市庁舎の建設100億円を現在の市民11万7千人で割ると一人当たり8万5千円、世帯数5万5千世帯で割ると18万1千円。まちづくりプラン2020の人口構成比では、15歳未満が13%、労働人口が58%、高齢人口が29%となっている。市民の経済がもつのか、支払いは何年で終わるのか教えて欲しい。相当重い負担になるので50億円位で作ってしまえば良いのではないか。

◆質問者8

資料の検討委員会のところで「長期的なまちづくりの取組へつなげ」とあるが、連続立体交差事業が完了した折、駅北開発事業計画が存在していた。今、駅北はだんだん寂れていく一方。このような状況で駅北に庁舎を移転した場合、検討委員会が望むまちづくりができるか非常に疑問。現庁舎は角地で、車での利便性は非常に良い場所にある。防災拠点としての対応も優れている。そういう意味で現庁舎での建替えを希望する。また、地方自治法第4条第3項における議会承認は本当に得られるのか。議員の責任も問われる。

◆質問者 9

今、こういう風に話し合いをしているのは高齢の方ばかり。もっと若い方にこれからの防府市のまちづくりとかを聴かれた後で検討されたほうが良い。

提案だが、中学校や高校などで出前授業ができないだろうか。

◆質問者 1

若いものの意見を聴くべきだというのはそのとおり。3月議会の決議も全会一致であり、非常に重く受け止めて、今からこの件に当たってもらいたい。

●市長

将来のまちづくりを考えて、駅北エリアでしっかりしたものを作りなさいというご意見は、検討委員会の結論としていただき、それを市民の皆様にはほぼ同時期にお伝えしたく、4月1日から歩かさせていただいている。行政は判断いただいたことを真摯にお伝えしており、最終的な決断は、議会がなされること。3分の2の同意がないと移転することはできない。過半数の支持がないと現庁舎に建てることもできない。いずれにしても議会の承認が必要。ご理解をいただくべく、議会にも説明させていただかなければならない。

若い人からの声をというご意見はもっともなご意見で、検討委員会にも若い人が入っておられたが、それをもって若い人の意見というわけではないだろう。私が接触している若い人たちからは、将来を考えて、まちづくりの点からしっかりしたものを作れとよく言われる。

鉄道高架事業、再開発事業など先人が500億かけてできた世紀の大事業、昔のままの姿をちょっと想像していただくと、今では隔世の感がある。先人のご苦勞の中で現有地が決められ、後世のもののことを慮りながら考えていくことが現世に生きるものの責任の一つかも知れない。

出前授業については、教育委員会とも相談してみないといけないが、常に頭の中に入れておきたい。

何度も言うが、決めたわけでは全くない。今、こういう状況にあるということを報告しつつ、ご意見を賜っているということでご理解をいただきたい。

佐波地域 庁舎建設に関する検討会

【日時】 平成29年4月27日（木） 午後6時～7時30分

【場所】 佐波公民館 集会室

【出席者】 佐波地域住民ほか 計71名

【市説明者】 松浦市長、村田副市長、末吉総務部長、石丸庁舎建設室長、竹末庁舎建設室次長、工棟庁舎建設室建設推進係長

【配付資料】 「防府市新庁舎建設について～庁舎建設に係るこれまでの経緯等～」

- 【概要】
- 1) 市長あいさつ（松浦市長）
 - 2) 庁舎建設に係るこれまでの経緯等（石丸室長）
 - ・候補地選定の経緯を中心に説明
 - 3) 質疑応答

【質疑応答の概要】 *各発言は、要旨を簡略化して記載している。

◆質問者1

1月28日のシンポジウムにも行き、なぜ現有地の案がないのか不思議に思った。今日も説明はない。駅北ありきで進んでいる。

防災面が不安なので、なるべく早く作って欲しい。現在地なら警察、県の土木事務所など近く連携しやすい。駅北のアスピラートやルルサスなど、稼働率もそれほどないようで、さらに市役所を作っても期待できない。

ルルサスの図書館も専用の駐車場のない図書館なんて全国どこに行ってもここだけじゃないか、物笑いの種。またそんな感じのものが建つのではないか、箱物が建つたびにがっかりする。市民の財産である市庁舎は、市民の望む方向で考えて欲しい。

◆質問者2

道路の問題はどうか。費用などは出ているか。

●庁舎建設室長

駅北ありきだという意見は各地でお受けしているが、回って説明して、わかっていたいてきているかなあというところ。

早くということについては、耐震性からスタートしたので、なるべく早く考えたい。

警察や消防などとの防災の連携にはいろいろなやり方がある。近ければ安心ということはあるが通信技術などさまざまな方法で確保していくよう考えていきたい。

アスピラートやルルサスについては、今が良い状態とは思っていないので、しっかりと考えていきたい。市役所をプラスしたらどうなるかわからないが、知恵を使って発展を目指していきたい。

図書館の専用駐車場がないということは、担当課にも伝え、これからも使っていく施設なので少しでも改善できるようにしたい。

ハードの整備で欠けているのが生活者の行動パターンなどの十分な検証。今後はそう

いうことにも気を付けていきたい。市民の望む方向で考えるのは当然だと思うので、この会でのご意見なども反映するようにしていきたい。

道路の費用については、資料の4ページ目の想定事業費のところ。付帯工事費の欄の数字に入っている。道路の問題は、渋滞や駐車場について各地で意見をいただいている。現在の交通量調査を見ると渋滞を惹起することはないと思っているが、入口を工夫したり、場内での動線を長く取るとか、設計上で必ず考えていかなければならない。

◆質問者3

市役所に来る人の8割から9割は車で来る。新しいところでは、駐車場の確保も難しい状況の中、先日の議会での全会一致の決議に従って、現庁舎での建替えも含めて、しっかりよく考えてもらいたい。

◆質問者4

訴える力が弱いのは、中長期的な事業計画が市民の皆さんにはよくわからないということ。どういう理由で駅北を選ぶのか、現庁舎を選ぶのか。そういうことがはっきりわからないとこの話は進まないし、結論が出ない。

◆質問者5

どういう都市計画、周辺開発やまちづくりをどうするか具体的なものが見えない。

今日の資料の総評のところだが、防府市そのものがコンパクトシティを形成していると思っており、位置の変更はそれほどの要因にはならない。利用のしやすさで言うと、公共交通機関が利用しやすいことはプラスだが、県や国の出先との関係でいうと、経験上、行ったり来たりすることがたまにあるので、近いというは無視できない。

18,000㎡の同じ建物を現在地に建替えるのが今日の資料の現在地のところのベースになっている建築内容ということになるか。また、現在地での建替えなら駐車場は更に広いスペースを確保できるのではないか。

●庁舎建設室長

3月27日の議会の決議については、しっかり対応をしていき、市民の皆さんにお示ししたい。

駐車場は立体と平面の組合せで180台整備し、現在146台なので若干増やしている。八王子1丁目の場合は、周辺に民間の駐車場もあるので、考え方を整理する必要がある。ピーク時で想定するのか、平常時で想定するのかでも変わってくる。

今回作ったのは庁舎の建設計画なので、中長期的なまちづくり計画は、別の計画で作っていかなければならない。今、更新をしている都市計画マスタープランが終わり次第、中心市街地の計画などで具体性を帯びさせていく。今年の施政方針にもあったが、これをきっかけに中心市街地の活性化や公共交通ネットワークの整備に取り組んでいく。

面的整備については、割と広めに八王子1丁目の街区全体位をとらえて地区計画などがないか。最近では都市計画決定を経ずに行える区画整理事業なども出てきている。

コンパクトシティの形成については色々考え方はあるが、少子高齢化の中で持続可能な地域でなければ、いつかは疲弊するという危機感をもって話をさせていただいている。利便性については、マイナンバーなども含め、今後、IT化も進んでくるので、そのあたりを踏まえて考えたい。

建築費用については、資料の2ページ目の数字は1年半くらい前のものであり、現在では10億円位上がっている。

◆質問者6

先ほど33億円の貯金があると話があった。建設費が108億円なら、別に75億円お金が要る。その75億はどのような計画で償還するか。

●庁舎建設室長

資料の説明をしていない部分。資料の一番裏のページをご覧いただきたい。そこに財源の内訳を載せている。なるべく借金は抑える方向で考える。

◆質問者6

償還は計画どおりにできるのか。単に耐震性がないからということだけではなく、子供も減ってくる、マイナンバーなどで職員の仕事も軽減される中で職員の合理化など行政改革との兼ね合いも考え、市役所の努力も訴えていかないと納得されないのではないのか。新しい庁舎になればITの機械などが使えて経費が節減になるとか、具体的なメリットがある、効率化になるということも提示していくべき。

◆質問者7

今まで話を聞いていて、なんとなくすっきりしない。市庁舎の耐震が必要なのはわかる。どこへ建てるか今まで色々と考えてこられたということもよくわかった。ただ、駅北というのと現庁舎という話が出ていて、現庁舎に建てたときに具体的にどうなるのかよくわからない。それがわかれば比較して考えられる。議会の決議を受けて、具体的にどのように対応するのか。

●庁舎建設室長

行政の効率化、経費の節減など、新しい庁舎のメリットについては、今後、なるべく早い段階で提示できたらと思っている。

議会の決議への対応については、16地区を回っているいろんな意見を伺っているところ。対応はまだ決まっていないが、副市長を委員長とする庁内の検討委員会で検討には着手しており、早めの対応を考えたい。

◆質問者8

高架化をした成果やできなかったことの総括をどういう風にされているか。どうして今さら市役所をあそこにもっていくことになったか、当初からその発想はなかったのか。

積立を早くからしていることは先見性があるが、当初はどのように考えて、どのようにしようとしていたか、そのあたりを伺いたい。

●市長

市長に就任した頃は市財政は破綻寸前であった。その中で行政改革に取り組み、様々な行政課題をこなしつつ、鉄道高架事業、区画整理事業などを行ってきた。平成13年行革の間に市職員は230人位減少したが、今日のゆるぎない財政基盤を確立できた。

積み立てる前にどこかに決めておくべきだという考えもあろうが、いつかはどこかに作らなければならないという考えの中で積み立ててきた。先人が努力をされ、鉄道高架事業を成し遂げ、南北の区画整理事業、再開発事業をやってきた。その評価を色々と言われる向きはあり、決して十分な効果が上がっていると思っではないが、まちづくりは永遠の課題、今に生きる私たちが後世に示していくことが大事。

検討委員会でいただいた判断を基に粗々のイメージを作り、行政体として市内全域を歩かせていただいております、次なる方法として、老人クラブ、青年団体、障害者の方々の団体等々にも説明をして意見を承ってまいらねばならないのではないかと考えている。

今後も行財政改革を断行しつつ、健全な財政を維持しながら、世紀の大事業をやり遂げていかななくてはならない。私個人は、ちっとも焦っていない、急いでいない。色々な意味で今後に憂いのないように、後世のご批判に耐えられるようにしなければならない。

議会の決議については、突然の決議でびっくりした。色々な解釈があろうが、全員の方が納得された決議である。今日の資料の4ページにあるような程度のものであれば、そうそう時間はかからないだろう。それではだめとなれば、同じように時間をかけて、議会の意向を踏まえた同じレベルの比較対照できるものを用意して説明し、時機を見て無作為抽出のアンケートを実施するという事も考えられる。どちらにしても予算は必要。いずれにしても時間のかかることに、今、着手したばかり。

雑ばくな説明ですっきりしない、よくわからない、中長期的な見通しが甘いと言われるご指摘もいただいたが、ここまでお示しできるところまで来たということ。子供たちの意見も含めて聴くべきだというお話も先だっもらった。そこまではなかなか現実問題として難しいが、おおよそ500億円を駅周辺に投じてきた先人のご判断の中で今のまちがあり、そういう積み重ねの中で現在があり、未来もできてくるのではないか。

500億かけてできた世紀の大事業、昔のままの姿をちょっと想像していただくと、今では隔世の感がある。先人のご苦勞の中で現有地が決められ、後世のもののことを慮りながら考えていくことが現世に生きるものの責任の一つかも知れない。

出前授業については、教育委員会とも相談してみないといけないが、常に頭の中に入れておきたい。

何度も言うが、決めたわけでは全くない。今、こういう状況にあるということをご報告しつつ、ご意見を賜っているということをご理解をいただきたい。

玉祖地域 庁舎建設に関する検討会

【日時】 平成29年4月28日（金） 午後6時～7時20分

【場所】 玉祖福祉センター 大集会室

【出席者】 玉祖地域住民ほか 計45名

【市説明者】 松浦市長、村田副市長、末吉総務部長、石丸庁舎建設室長、竹末庁舎建設室次長、工棟庁舎建設室建設推進係長

【配付資料】 「防府市新庁舎建設について～庁舎建設に係るこれまでの経緯等～」

- 【概要】
- 1) 市長あいさつ（松浦市長）
 - 2) 庁舎建設に係るこれまでの経緯等（石丸室長）
 - ・候補地選定の経緯を中心に説明
 - 3) 質疑応答

【質疑応答の概要】 *各発言は、要旨を簡略化して記載している。

◆質問者1

検討委員会の会議録なども読んだ。委員さんが真剣に検討されたようだが、夢だとかロマンを語っておられた方もあり、具体性に欠け、理解しがたいところもあった。

市が提案している駅北での新庁舎建設は、どっちがいいという議論が先に立ち、駅北の具体論が進んでいないというのが実情だろう。駅北で市庁舎を作り、まちづくりをされるなら、防府市の総力戦。市だけでなく、地元住民、市民全体、商工会議所や地元の商店主、10年先、20年先のまちづくりに全力であたっていくないと、市庁舎だけ作ってしまっても変わらなかったでは、次世代が負担するコストが一番高くなる。

できればすべての方にご協力いただいて、駅の北側、防府のまち全体のことを考えてやってもらえるのであれば、100億のコストが高いか安いかわというよりも、10年先、20年先の防府市をどう考えるかということで、お釣りが出るのはないか。もし、そんな協力がいただけないのであれば、議会棟をそのままに、本当にコンパクトにコストを安く作るということしか考えられない。

まちの中核、コンパクトシティということが庁舎建設では話に出ているが、その中で周辺部分がどういう風に活かしていけるのか、単に交通アクセスとかだけではなく考えて、市庁舎建設やまちづくりをやっていただきたい。

◆質問者2

関係ないかも知れないが、未だに下水道が通っていない。浄化槽は巨大なタンクで衛生上あまりよくない。設置のための敷地も必要になるし、更地にして売る時も自己負担で取り除く必要がある。下水道があればそういうことがない。

◆質問者3

新市庁舎を考える中で、まちづくりも必要だが、災害をどのように考えているか。資料の「基本的な考え方」の中に「安全安心な暮らしを支える庁舎」とあるが、ハザード

マップではこの辺りは2メートルくらい浸水する予測も出ていたと思う。1階部分が浸水し市民生活に影響を及ぼすということもよくあるので、執務空間と窓口部門の情報の連携を考えて、1階が浸水しても影響がないよう考えて欲しい。また、地震にはどのように対応しているか。

●庁舎建設室長

面的整備だとかまちづくりは、夢やロマンがないとなかなか語れないところもあるだろう。具体論が出ていないということについては、おっしゃられたとおり、総力戦だろう。今、商工会議所を中心に中心市街地活性化基本計画を作ろうとしている。そうした計画を今から立てていく中で具体化していかなければならない。この計画は庁舎を作る計画で、まちづくりの計画ではないが、委員とすればまちづくりの答えを見たいというところもあり、まちづくりの計画は今から作るので、順番が前後している状況でもある。昨日もご指摘をいただいたが、今後そういったことを担保していかないと、なかなか理解が得られないだろう。庁舎を移転すればそれだけでハッピーになるとは考えていない。産業振興や雇用の創出といったことが片方にあるだけではじめてまちは豊かになる。庁舎の計画は作ったが、併せてそういった政策をやっていくということ。

下水道については即答できないので、上下水道局に伝えておく。

安全安心が一番の優先順位。建築の仕様の中で、水害にも地震にも強い庁舎を検討する。まちなかの庁舎となれば、危険分散の考えで、しなやかな対応を目指していき、自衛隊、警察、消防などとの連携もIT技術を取り入れながら強化していきたい。

◆質問者4

4年ちょっと前まで、東京に50年近く住んでいた。東京では駅の近くに作るのが当たり前でこの計画は最初いいなと思ったけど、防府ではJRとかバスを使ったことがない。すっかり車社会になっている。駅の近くという利便性はそんなにない。

駅の北に作っても、しかけづくりが必要。天神アーケード街の寂れ具合を見ると、商業で税収が上がり、庁舎を作るくらいのお金がすぐ戻ってきたとか。防府市はものすごく住みやすい。あつたかくて雪は積もらないし、駅を中心に交通の便もよく、海はあり、周辺の住宅街と商業地、いい文化の面ももっている。市が発展するための商業地、南は高校とか多い文教地にしようとか。ただ、いい庁舎を作るだけではなく、経済活性とか人が集まるとか、しかけづくりになるような市庁舎を考えてください。自分も意見があれば提案したいが、そういうしかけのある新庁舎でないと市民は賛成しない。

●庁舎建設室次長

ハードの建設の計画を作ったが、そういうソフトの計画を考えていかななくてはいけないという話を建設室の中でもしているところ。

◆質問者5

駅北を防府の中核にしていこう、そこからまちを広げていこうという趣旨だと思うが、

例えばホテルが入るとかそういうソフト面は一切考えておらず、今の段階では場所の選定ということなので、全体的なまちづくりが提示されればなるほどと思うが、今の段階で判断しろと言われても、判断のしようがない。

あちこちで色んな意見があったと思うが、まとめて公表されるなら楽しみにしておく。

◆質問者6

お金の話だが87億と118億、30億の違い。19年かかって33億しか基金が集まってない。この30億の差をまた20年かかって埋められるのか。金額面を安易に考えているのではないか。B案について具体的なことが白紙である以上、押さえるポイントは、まず金額面を安くあげること。もうちょっと視点をはっきり決めないと説得力がない。議会が全会一致で再検討しろというのを3分の2までもっていくのは大変だと思うので、もっと考えて。

●庁舎建設室長

地方都市は住みやすいけれども「けれども」が付くのは、どこも同じ。また、車社会が脱却できないのも地方都市では全国どこでも同様。しかけづくりとして、単にコンクリートの壁が建っているのではなく、筆界を開くように地域で協定を結んだりして、一階をまちに開いて、半公共的なオープンスペースにするなど、具体策はこれから考えていきたい。

もう少し具体性がないと、場所だけ決めてくれと言われてもなかなか難しい、判断できないというご意見については、進め方の参考にさせていただきたい。

30億円というのは1年半くらい前の数字で、今は変わってきており、直近の建設単価に置き換えると10億円くらい高くなる。現庁舎の数字をきちんとはじいてないが、87億というのが97億くらいになり、30億の差が、今、あるということではない。金額で決めるというのは大きなポイントで説得力にもつながると思うので、活かしていきたい。

●市長

色々な角度からご意見をいただき感謝申し上げます。これまで全地区を回ってきて、今日のご意見は示唆にとんだ素晴らしいご意見をいただいたと思っている。

先人が熱心にまちづくりに取り組んで、連続立体高架事業など500億円を投入している。市長になったとき、その借金をどうしようと考えて行政改革と合併に取り組んだ。行政改革は転ばぬ先の杖になり、消防署、火葬場、体育館ができ、ごみの焼却場も作ってきた。下水道ができていない地域があるのにというご意見もあったが、都市計画税を払ってくださっている地域で、20年も30年も下水道が到達していない地域がまだあり、調整区域内の場合、浄化槽で対応していただくしかない。

まちづくりは永遠の課題であり、その都度、当時の人たちが、分相応のしかけづくりをやってきた。区画整理事業も再開発事業も大変な作業であった。そういうものを乗り越えながら、今では山口県でも1番の財政と言われる防府市になってきており、そろそ

ろどこかに市庁舎を作らしてもらってもいいんじゃないかということで3年位前から取組を始めている。すぐ出来るものではない。今、緒に就いたばかりで、今、ご説明したからといって、ご納得いただける、議会で諮っていける成案を持っているわけではない。検討委員会で結論をいただいたことを市内全域の皆様にお知らせをして歩こうということ。この後、老人クラブ、青年団体、この前のどこかの会合では、子供たちにも話をしてくれと言われたが、小学校に出向いて出前講座をやるわけにもいかないかなあと思っている。金銭面で安くするのが良いというのも一つの重要な考え方だが、後世のご判断に耐えられる形でやっていかなければならない。財政的には心配はいらんと思っている。100億、120億にしても60年位かけて使えるものだし、毎年2億円ずつ払っても120億になる。庁舎改築の目的だけで毎年2億、3億積み上げ、15年で33億円まできている。

大体この場所という段階になって初めて地権者の方々に当たっていける、公安委員会と道路の問題も協議に入っているが、何も決まってない段階で、そういう動きはできない。例として申し上げるが、デベロッパーに声をかけて、ホテルはどうか、マンションはできないか、老健施設はというコンペをする手法などもあるが、そういうことも何一つ、具体的に申し上げることがない。

今日の玉祖での会合は、地域を回らせていただく最後となったが、とても参考になる、知恵をいただく機会であった。おおよそ500億を30数年かけて先人が投入して来られ、その借金を20年かけて返しながら、次なるしかけができるところまで、ようやく来れた。区画整理をやる時に庁舎予定地を決めておけば良かったという意見もどこかの会場でいただいた。そのとおりだが、その時の体力では絶対に許されない、分不相応であったろう。市会議員の皆さんとも真摯に協議していきながら、将来の方向性を誤ることなく見出していきたい。それが今に生きる私の責任であろうと思っている。